

高

朋友

1990

高校同窓会設立30周年



東京電機大学高等学校同窓会

《表紙について》

本誌名の「朋友」は仲のよい友達とか友人という意味を持ち、英語での「FOR YOU」…（会員皆様方のための）という意味を持たせております。これは同窓会幹事会において鷺見篤氏よりご提言いただいたものです。

また、表紙の画は河部貞夫先生作のレリーフ「若者の像」を、本誌のため再度先生にデッサンしていただいたものです。もともになったレリーフは、学園創立60周年記念に合わせて、同窓会で募金したレリーフ基金及び学園、生徒会の援助により製作されたもので、現在も小石川校舎玄関口右手におかれています。

同窓会創立30周年によせて

東京電機大学高等学校校長 宮崎 登
東京電機大学高等学校同窓会名誉会長



卒業生の皆様には、日頃の母校に対するご支援ご協力に心から深甚の敬意と感謝を申し上げます。高等学校同窓会は、昭和35年に創設されて以来今年で丁度30年を迎えました。

同窓会の設立にあたり、当時の委員の皆様には大変なご努力をいただいたと伺っております。その献身的なご努力に深く感謝申し上げる次第でございます。また、その誕生から更に充実発展した組織に築き上げるために、歴代の会長・役員・幹事の皆様方の活発な活動とご努力をいただきまして、同窓会は大きな発展を遂げてまいりましたことに重ねて御礼申し上げます。

同窓会の発展は、母校の発展でもあり、これまで大きく寄与していることは申すまでもありません。私学の発展には、卒業生の皆様、在校生、学校が三位一体であることを欠かせません。幸い本学は伝統的にそれらが調和を保ち半世紀に亘って発展をしてまいりました。今後共それを礎にして、21世紀を担う若人の育成のために新たな課題に取り組んでまいりたいと考えております。

まず、平成6年度からの新学習指導要領に対応しなければなりません。その大きな改訂の方向は今までのゆとり教育から個性を生かす教育に向けていかなければならないと思います。基本的な方針に、心豊かな人間の育成、個性を生かす教育の充実、自己教育力の育成、文化と伝統の尊重、国際理解の推進などの課題があげられます。どの課題を取り上げても多くの教育実践を積み重ねなければなりません。

学園の将来計画として、高等学校が現在の小石川キャンパスから小金井キャンパスに移転することは、既に昨年の本誌にもご報告申し上げましたが現在、平成4年4月開校を目指して新校舎の建設工事が順調に進められています。その主なものを若干ご報告申し上げます。

ご存知のように、小金井校地は、JR中央線東小金井駅北口から約500m、徒歩5分程のところ

位置し、周辺は住宅地域であります。キャンパス全体の構成は、教育・管理棟（地上4階 屋上にプール設置）、体育館兼講堂（地下1階 地上1階）、クラブハウス（地上2階）、グラウンド、テニスコート等であります。また、設計担当者のポリシーは校舎全体をシンメトリーに設計し、格調の高いものにしてあります。更に、先生と生徒 生徒相互のコミュニケーションの場として、ラウンジアトリウム等を設けて、新しいイメージを醸し出しています。新校舎完成の暁には是非ご高覧をいただきたいと思っております。

これまで、卒業生の皆様に新校舎建設に向けて何かとご協力をいただいております。

この度、高等学校の新校舎建設にあたりまして建設資金の一部を、本誌後記の募金趣意書にごさいますように、広く寄付募集をさせていただくことになりました。つきましては、卒業生の皆様の深いご理解とご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今後共、母校へのご支援をお願い申し上げますと共に、創立30周年を節目として同窓会の益々のご発展をお祈り致します。

目次

同窓会創立30周年によせて	1
大役をお引受けして	2
同窓会長を退いて	3
クラブ紹介（柔道部）	4
〈同窓会30周年記念講演〉	
「宇宙人は実在する!?」	6
〔名簿〕歴任教員	29
現教職員	31
同窓会の活動報告	34
小金井校舎建設資金募金について	36

大役をお引き受けして

東京電機大学高等学校同窓会会長 大塚 忠 克

この度、総会後の第一回幹事会に於いて、長期8年、卓越した指導力を発揮された印宮登前会長の後任として推薦され、お引き受けしたものの大任の重さに身の引締まる思いです。

高等学校同窓会も印宮登前会長のもと創立30周年を祝い、この間、同窓会を運営された聡明な歴代会長の御努力と御指導により、同窓会も発展の一途をたどってきました。

また、21世紀を迎えようとする現在、我が学園はその態勢づくりを急いでいます。そのために大学の千葉キャンパスの新設、高等学校の小金井校地への新校舎建設移転、電機学校の廃止か、新設し存続させるのか等多数の問題をかかえています。特に電機学校問題は、校友全体の問題であるとともに、学園の発展と将来に悔いを残さないように解決されなければなりません。

私たち高等学校同窓会は、校友とともにこれ等の問題を考えると同時に、目前に来ている高等学校の小金井校舎建設、小金井移転という大事業を成功させるための取り組みと、校舎建設にともなう一部建設資金の募金活動を同窓生諸氏のご協力を得るために、高等学校当局および先生方と相談し取り組んでいきたいとおもいます。

そのためには、総会で決まった事業計画、卒業生のクラス会開催の奨励、クラス委員と教職員、同窓会幹事との懇談会等の事業を進める中で、卒業生と母校のつながり、同窓会とのつながりを今以上に深めていかなければなりません。そのための組織づくりが大切であるとおもいます。このことは、同窓会だけの問題ではありません。卒業生全体の組織である校友会の問題でもあります。卒業生会員の会勢拡張取り組みはどうしても行なわなければなりません。

そのため、現在論議されている校友会定款の問題、運営のありかた、会員サービスのありかた等々の諸問題を時間をかけ検討していかなければなりません。高等学校同窓会も、高等学校の小金



井移転という新しい高等学校の建設、校風の確率が求められるなかで、その時代に即した同窓会のあり方も又求められています。

21世紀に向かって、学園、校友会、同窓会とも、今日まで先輩諸氏が永々として築きあげられた、伝統と歴史を基礎に時代とともにより発展させるための組織づくりを目指し検討していかなければならないと思います。

このような時期に、大役は指導力もない私の任では無いことは重々承知しており、不運であると思っておりますが、お引き受けした以上お役にたつよう全力をつくして努力して行くつもりでありますので宜しくお願いいたします。

また、同窓会の運営については、歴代会長、役員諸氏、先輩諸氏の御支援、御指導を受け、学校、校友会とも相談し、高等学校、同窓会のより一層発展されるよう努力して行くつもりであります。

最後になりましたが、松下祐輔会長のあとをうけ、8年間に渡って同窓会会長として卓越した御指導、御活躍された印宮登前会長に感謝の意を表すとともに今後とも御支援、御指導の程よろしくお願いいたしまして、大役お引き受けの御挨拶とさせていただきます。

以上

同窓会長を退いて

前東京電機大学高等学校同窓会会長 印 宮 登

・はじめに

この度、総会後の幹事会にて会長を退かせて頂くことになりました。昭和58年より今年まで、足掛け8年の長きに渡り、曲りなりに職責を果たせましたのも、同窓会員である卒業生の皆様、特別会員である教職員の皆様そして同窓会役員の皆様の絶大なるご支援・ご協力のお蔭と深謝申し上げます。一、二思い出を書かせてもらい、退任の挨拶に替えさせていただきます。

・思い出すまに

高等学校同窓会は、昭和35年に創立されたものであり、本年が創立30周年にあたる。当初、特別な計画をしていなかったが、その後幹事会に於て検討を加えていく段階で、年々同窓会の年令も高齢化してくる、従ってお祝い事はより細かく行なったほうが良いという事になった。また、平成4年には小金井に移転が決まっているので、小石川の地での記念事業は最後になるという事も考慮して、創立30周年記念事業として、記念講演及び記念祝賀会を開催する事にした次第であります。

創立25周年の記念講演は、同窓生の石川明さん(当時日本TI社長:31年卒)に「エレクトロニクス先端産業と今後の方向」と題する講演を頂いた。余談であるが同氏は現在米TIグループ全体の半導体事業に専念されている。

そこで、30周年記念講演もできれば同窓生にお願いしたいと考え、いろいろ検討した結果元日本テレビディレクターでUFO研究者として有名な矢追純一さん(29年卒)にお願いしたいということになった。取敢えず連絡を取るべく、著書の奥付にあった、常務理事をされている(財)地球環境財団へ電話を入れたところ、最近是非常勤なので余りお見えになりませんとの事で、連絡の糸が切れた。そこでNIFTY-ServeのWHOという人物データベースにアクセスし、住所データを得てお願いの手紙を出した。がこれも転居先不明で返送されてしまった。次に考えたのが、出版社に



読者サービスをさせようと、回送依頼したところ快く引き受けて貰えた。

しかし工学情報への原稿締切日(3月末)が近付いてきても、何の連絡も無くこれは他の方にお願ひしなければと考えていた矢先、矢追事務所より連絡があり、6月下旬の予定が調整ついたし、本人は母校の事で喜んで引き受けますといっているとの事で、一安心した次第で、半年も先の予定がぎゅーりとは我々凡人と随分違うものと感心したものです。

講演当日は、皆様ご承知の通り例年であれば、梅雨の真っ最中で雨が心配なのだが、今年は異常陽気で2、3日前より連日32、33度を越す真夏日。当初、熱地獄の体育館での講演予定を、急遽実演室に変更した。その暑さにも拘らず大盛況で丸イス、立見が出る始末で諦めて帰った在校生には、この場を借りてお詫び申し上げます。

またこの「朋友」は25周年記念号が創刊号で、以来毎年発行され、今年に至っている。会長退任により、これでやっと原稿から開放されるとほっとしているところであります。

・おわりに

今後は、大塚新会長のもと、斬新な計画で同窓会活動が展開されて参ります。私共前役員にお寄せ頂きました以上のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、伏して皆様をお願いいたしまして、退任のご挨拶に替えさせていただきます。

柔道部

柔道部物語

2E1 成見 論



乙川、たのむからそのめがねやめろ柿崎、いまだきめずらしくバカな男、高康、パンティ大好き桐生、柔道着がすっぱくさいぞ村山、ルパン毛(手の甲)がこい副部长立脇、すっげ〜〜さるに似ている部長猿見。まちがえた、成見部長。というように現在の柔道部はみんなユニークで個性のある部です。2年生に関してはちょっとかわった連中が

それでははじめに柔道部を指導してくださっている先生方と仲間を紹介しましょう。まず財津一郎に似ているといわれている宮本先生。一年の内半分は会議に出席している上前先生(会議太郎)。無言のまま目でいかくする渡辺先生(車がよれると柔道部員にみがかせる)。そしてコーチの若生先輩。今年の一年生はちょうしこいて練習をさばりまくっているの、毎日5、6発は鼻ばんちを入れてます。でも、2年生はもっとちょうしこいでいるので、先生にボディに毎日10発くらうているので生傷がたえません。そして、今は引退しましたが3年生が3人います。いつもやさしい今村先輩、柔道部では一番強かった磯崎先輩、元柔道部長の興石巨(安部譲二+桜金造÷2といわれている)先輩です。興の字の中は同ではなく車だぞ。つづいて2年生。一番出席率の悪いホモだぞ

あつまっていますが、この2年生が柔道部をひっぱっているのです。

まあこういったメンバーで柔道部は動いているのです。さて、この柔道部の活動状況ですが、最近はみんなだらけているせいか、やや練習不足になってしまっています。そのせいか近ごろの試合での成績はいまひとつ。このままでは電高柔道部のメンツがなくなってしまう。さいわいに柔道部はふだんの練習でも春夏の合宿でも、OBの方々や大学生の方などにも練習に加わってもらっているので、そういう方たちのうまさをどんどん吸収し、また、自分たち自ら積極的に練習にとり組んで柔道部の全員が強くなるように活動していきたいです。柔道部はユニークなだけの柔道部ではなく強い柔道部といわれるような柔道部にし、電高の柔道部の伝統をまもっていききたいと思ひます。

柔道部コーチとして

昭和61年L4卒 若生 真一郎

柔道部は3年生3人、2年生7人、1年生6人の計16人の部員がいます。6月末に3年生が引退し、2年生を中心として現在活動しています。練習は月、火、木、金曜日に実戦練習を、水、土曜日にトレーニングを行なっています。実戦練習は2時間位、トレーニングは1時間位と短めですが、

学生の本分である勉強などを考え、短い時間内ですが集中してでき、より効率よい内容を考えています。昨年より東京電機大学高等学校柔道部OB会が設立され、より良い環境で部活動ができるよう先輩方から会費を集め、夏合宿や春合宿の医薬品などで活用しています。

しかし、年々部員数が減り、学校全体でも部活に入る生徒は少ないのですが、今活動している部員のほとんどは高校で柔道をやりたいという好奇心から入部し、今度は誰でもがそうであるように強くなろうとする気持ちが出てきました。試合の成績はまだあまり良くありませんが、夏、春合宿を東京電機大学柔道部と合同でやることによって、普段とは違う練習を取り入れたりしています。一週間程度の合宿で急に強くなったりしません。ここでは高校と大学の関係を強め、チームワークの大切さ、これから自分が強くなっていくためのきっかけをつかむための目的で行なっています。きっかけをつかんだら、そこからの彼らをのばしていくのは教える立場にあるわたしたちです。また、技ばかりでなく武道の基本的精神である「礼に始まり、礼に終る」

という言葉の通り、人が生きて行くために必要不可欠な礼儀という心の面でも成長して欲しいと思います。そして、卒業した時に「自分は3年間、柔道部で柔道をやったんだ」という何かをやりとげた充実感と本当にやってよかったと思えるような部にしていききたいと思ひます。



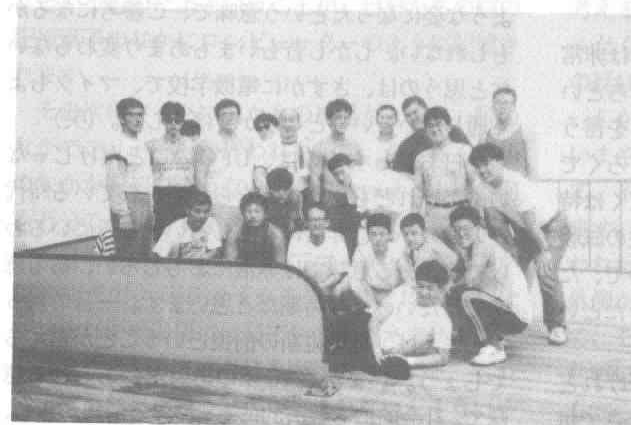
「今、私を動かしているもの」 現高等学校教諭 宮本 治

卒業生の皆様、柔道部OBの皆様、相変わらず元気で学業にあるいは仕事に燃えている事でしょう。私も電大高校の部員になって早半年。今年も青春どまん中の私は、燃えてる男26ですよ！

御承知の通り、平成4年4月より高校は小金井に移転します。これからの生徒急減期を前にやっで行けるのかと皆様は心配なさる事と思ひます。しかし、現場にいる私達には泣き言は無用。やらなければならないのです。今私達に求められてい

る事はこれをチャンスとしてより良い設備の整ったりっぱな校舎を作ってもらい、内部の教育もグレードアップさせ、チームワークのとれたスタッフで生徒達を引きつける新しい電大高校作りであると確信し、小金井の地で頑張る覚悟です。

今、私達の合言葉は「電高維新」なのです。意識は日本の新しい夜明け・明治維新を成しとげた若者達の如く！卒業生の皆様、新校舎完成後はぜひとも見学に来て下さい。今は忙しくてなかなか練習する暇はありませんが、だからといって26の私です。この若さが柔道に対する情熱を消させません。むしろ普段でできないだけに夜練習している自分を夢見るぐらいです。新校舎では120畳の専用道場になります。仕事や学業の合間にも、是非とも来て部員達とともに汗を流して下さい。その後のビールが又最高ですよ！卒業生の皆様も、燃えてる電大高校教職員とともに一丸となって新しい電大高校の輝かしい歴史の1ページを作り始めようではありませんか！



同窓会 30 周年記念講演

(平成2年6月23日 於：小石川校舎1階実演室)

「宇宙人は実在する!?!」

元日本テレビディレクター 矢追純一氏

去る6月23日、平成2年度同窓会総会が午後2時より小石川校舎1階実演室で開催された。総会に引き続き3時より記念講演、5時半より懇親会が行なわれ、総勢163名の方々が出席され、午後7時半、会は無事終了した。

記念講演では、同窓会30周年記念ということで、本校の卒業生でテレビ等で活躍中の矢追純一先生に『宇宙人は実在する!?!』という演題でお話をいただいた。現役の生徒も加わり、実演室に補助椅子を出しても入りきれないほど盛況であった。

そこで、この講演録を特集したので、当日の模様をじっくりとお楽しみいただきたい。



【矢追純一氏】

矢追氏は東京電機大学高等学校卒業後、中央大学法学部法律学科を経て日本テレビに入社。「11PM」「木曜スペシャル」等のプロデューサーを務め、超能力で話題のユリ・ゲラーが初来日の時の仕掛人として知られる。昭和61年退社し、以後原発問題、飢餓、地球の砂漠化等「地球の環境を守る」運動で世界を奔走中。

著書に「人類は地球人だけではなかった」「第三の選択の謎」等多数の作品があり、昨年発行した「MJ(マジェスティック) - 12の秘密」「これが宇宙人(イーパ)との密約だ」は数十万部を越えるベストセラーとなっている。

はじめに

ぼくがいたころとは違って、いまの諸君は非常に賢そうだね。最高だね。ぼくがいたころというのは、29年卒業ですから、そういうことを言うと怒る先生もいるかもしれないけれども、ろくでなしの集まりだったような気がします。ぼくは特待生にしてもらったんです。運よく特待生の試験に受かったものですから、うちが貧乏なので、ただだから入りたいというので喜び勇んできたというようなわけです。

みんなはもう覚えてないかもしれないけれども、錦町というところに学校があって、そこで毎

日よたっておりまして。そのなれの果てが、このような姿になったという意味で、ご参考になるかもしれない。しかし昔もいまあまり変わらないと思うのは、さすがに電機学校で、マイクもよく通じないというところがすばらしい。(笑)

今日お話しするのは、UFOのことだけじゃないんだけど、いまぼくらが置かれている時代というのかな、非常におもしろいところにいるわけです。ある意味では非常におもしろい、ある意味ではたいへんな時期だと思います。一言で言ってしまうと、地球維新の前夜ということが言えるでしょう。いまから10年のあいだにあらゆる意味で、社会的にも経済的にも、世界の情勢からも、

君たちの境遇も、すべてが激変するであろうということがはっきりしています。で、今日はいまからそのへんのことをしようと思います。

ぼくらが住んでいる地球という惑星、そういう概念そのものがみんなのなかにはあまりないかもしれないけれども、そのへんのところからひとつ認識を改めてもらいたいと思うので、最初からスライドを見せながらお話をしたいと思います。

常識の正体

その前に一つお話ししておきたいんですけども、ここにお集まりの皆さんは、若い人もお年寄りもいらっしゃる。それぞれ人には言わないけれども、おれは頭がいいと、どこか自負しているところがある。そして公正な判断ができると思っていらっしゃる。その公正な判断というものの基本になっているのは、いわゆる常識というものです。

「ぼくは常識があるよ」「あいつよりおれのほうが常識があらあ」と、みんな思っている。そういう常識のもとに日常の社会生活を送っているわけですけども、実は常識というのは自分で考え出したものでもなんでもなくて、この社会で過ごして行くうえで、まあまあ便利だなということを基礎にしているわけで、そういう便利だなというのは、いったいどこから、いつの間に自分たちの頭に入ってきたのかというと、これは巧みなる教育と宣伝の効果の結果なんです。

人間がものを認識するというのはいったいどういうことかということをも改めて考え直してみると、まず一つのもの、たとえばマイクロフォンならマイクロフォンを見せられまして、これはマイクというものだよということが、自分たちの脳の記憶素子のなかにコンピューターのように記憶されます。

その次にマイクに似たものを見たときに、脳のなかでフリー解析が行われまして、たくさん絵のなかから似たようなものをグーッと、1秒の何百万分の1秒かです。そして、似たものを見つけたときに、初めてマイクということが認識できて、このマイクを見たことになるわけで、それまでは目では見えても見えません。

つまり前もって刷り込みが行われないと、これはマイクだぞという認識が生まれません。そういう

過程を経ないと、人間はものを見ても見えないんです。このように、まず教育ということが行われないと、ものを見ても見えないんです。したがってみんなが思っているUFOというのは、こういうかっこうだというのはなんとなく統一されているので、あれに似たものを見つければUFOだということは認識されますけれども、まったく違うものだと、たとえばカンテンみたいなものが飛んでいると、それはUFOとは認めないというか、見ても見えないということがあるのです。

もう一つ別の見方からしますと、みんなが常識と思込んでいるものは、実はそういう刷り込みがなんらかのかたちで行われてしまったものなので、そこから抜け出られないという欠点を持っているわけです。つまりいまこれを見て、ひげの生えた男だなどというのは、もはやだれにでもすぐにわかるんだけど、これ以外のものを見てくださいと言っても見えない。またもとの模様に見えるようにしてくださいと言っても、もはや男しか見えないでしょう。

そういうふう人間というのは、いっぺん刷り込みが行われてしまえば、なかなか抜け出られないという性質を持っています。このことがひとつ進歩を阻んでいたり、保守的なものの考え方全体を押し進めていくという、ある意味では非常に悪い結果を生んでいる。新しいことになかなか飛びつこうとしない。なぜならば、それは刷り込みが行われてないものだからということがよくあります。

それで、今日これから話をするということについては、無理でも男の人の顔をもういっぺん忘れて、もとの模様であると思うようにしてください。つまりいままで自分が教育されてきたことを基礎に考えるのではなくて、それをいっぺん忘れて、まったく白紙の状態を考えるようにしないと、ぼくの話は理解できないのではないかと思います。

しかし事実は小説より奇なりというおりに、いまやみんなが想像していることをはるかにこえて、不思議な恐ろしいことがどんどん進行しています。内憂外患という言葉がありますけれども、われわれが住んでいる地球には、いま内側からと外側からの大きな圧力がのしかかってきてまして、そのことを為政者は一般大衆に知らせようとしていません。大衆を信じてないからです。もしも知らせてパニックになったらどうしようと思

ているからです。

地球は宇宙のど田舎にある

これはぼくらが住んでいる地球です。観念的には、みんななんとなくわかっていて、思うんだけど、現実には、こういうものの上に住んでいるんだということをもう一回認識してほしいために、これをお見せしました。

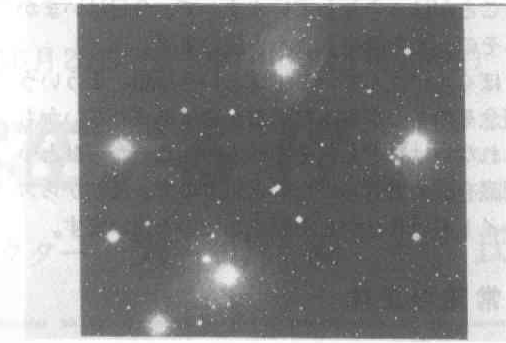


宇宙船から見た地球は、たぶんこういうふうに見えるでしょう。宇宙人もこういうふうに見えるだろうと思います。左の上のほうに、北海道、本州、四国、九州が写っているのが見えますか。あそこに東京があって、小石川があって、この電機大学高等学校があるんですけど、小さすぎて見えません。

この写真を見て、どういうことを思ったかな。まず第1にバレーボールみたいだな。この上に乗っかっていて、よく滑り落ちないな。第2に海が多い。これは気がついたでしょう。だいたい地球の3分の2以上は海です。ぼくらが住める陸地はわずかに3分の1弱しかありません。その陸地の内、45%以上は砂漠です。半分近くは砂漠。したがって住めない。残りの五十数パーセントのうち大部分は山です。したがってぼくらが住めるところというのは本当にわずかな平野部でしかなくて、住めるところもそうですけども、食糧がとれるところもそこにしかないんだということを、改めて認識させられます。

さて、この地球から飛び出して宇宙に行ってみるとどんな景色が見えるだろうかというのがこれです。おそらくわれわれの太陽とか、地球なんかもこんなふうに見えるでしょう。これはわれわれの太陽系が属している銀河系と言われるもの一つです。銀河系というのはこういうふうに空飛ぶ円盤みたいなかっこうをしていて、遠くから見

とこういうふうに見えるんですけども、真ん中



で円盤状に光っているものはなにかというと、実は太陽の集まりです。

太陽は1個しかないと思っている人が多いかもしれないけれども、実は太陽というのは、一つの銀河系のなかに2000億個あります。われわれの太陽も、その2000億のうちの1個にすぎません。



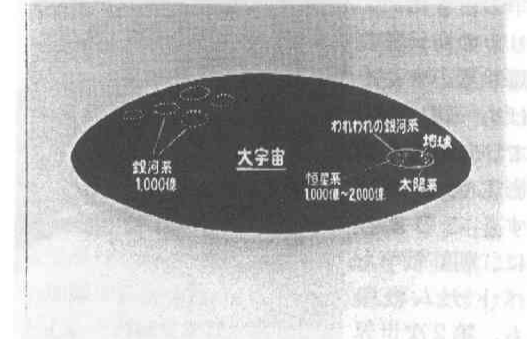
これがぼくらが属している銀河系の模式図です。真横から見るとこういうふうに見えます。そしてぼくらの太陽はどこにいるかというと、ここ。銀河系の中心から5分の3、端に寄ったところにわれわれの太陽はありまして、その周りを水金地火木土天海冥が回っているわけです。



この銀河系を真上から見ますと、こういうふうに見えます。そしてぼくらの太陽はここ、こう

いうふうにはじっこにあるわけです。よく夏になると天の川が見えると言いますが、天の川というのは、実は銀河系を地球から横に見たときに、たくさんの星が一直線に並んでいるように見えますね。それで天の川のように見えます。

したがってわれわれの銀河系を天の川銀河系と呼んでいますけれども、地球はその天の川銀河系の中心から5分の3のところにあることがわかります。そして周りには2000億の太陽がある。



さらに宇宙全体としては、いったいいくつの銀河系があるかということ、1000億個の銀河系で成り立っています。つまり銀河系が1000億あって、それぞれの銀河に1000億から2000億の太陽があって、それぞれが九つとか、二つとか、いろいろな惑星を従えて回っているということです。

それで、ぼくらの天の川銀河系はいったいどこにあるかということ、宇宙の中心からはるかに外れたはじこのほうにあります。ここにいます。見えますね。だからぼくらの住んでいる地球というのは、大宇宙のはじこのほうにある銀河系のさらにはじこのほうにあるわけですから、ど田舎と言っても間違いないでしょう。

これは言い換えると、非常に新しい星ということです。つまり大宇宙の中心で大爆発が起きて、そこで星が一つできたとき、それがまた爆発をして、たくさんの破片に散らばって、また集まって星ができていくというふうな、次々に爆発と生成を繰り返しながら、太陽が2000億掛ける1000億もできたんだと言われてはいますが、そうやって繰り返していきながら、膨張し続けているというのがいまの宇宙の姿だそうです。そういうふうを考えますと、中心より端に行けば行くほど、星が新しいわけです。中心に近いほど古い。じゃ、中心はいったい何年前にできたかという約180億年から200億年前だと言われてい

ます。ぼくらの地球は46億年ということがわかっていますから、いちばん最初に生まれた星との差が140億年近くあるということが言えます。

そこでもしもよその星に生物が生まれたと仮定しますと、その星とわれわれの地球とのあいだには、100億年以上の差があるかもしれないわけです。

UFOを見た

銀河系内に存在する文明の数

$$N = R \cdot f_p \cdot f_e \cdot f_i \cdot f_c \cdot L$$

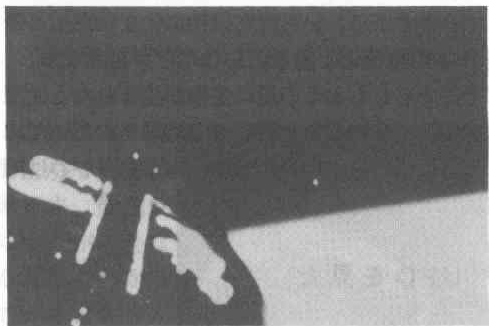
- R …… 銀河系内で毎年誕生する恒星数
- f_p …… 各恒星が持つ惑星数
- f_e …… 各惑星系で生命誕生に適した惑星数
- f_i …… その惑星で実際に生命が誕生する割合
- f_c …… 生命体が言語、道具を使う割合
- L …… 文明社会の平均的寿命

このようにして、1000億掛ける2000億の太陽と、その周りの惑星のなかで、はたして文明を持っている星はあるのだろうか。これはあるというのが、ほとんど100人が100人の学者が言う答えです。ではいったいどのぐらい、本当にあるのだろうかということ、みんなも知っていると思いますけれども、カールセーランというアメリカの有名な天文学者が、ドレイクという天体物理学者と共同で、こういう式をつくりました。銀河系内に存在する文明の数はいったいいくつかな。

つまりわれわれの天の川銀河系のなかに2000億の太陽があるわけだけでも、そのなかに星は2000億掛ける数個の割合であります。そこに人間と同等、あるいはそれ以上の文明を持った星の数はいったいいくつあるのだろうか。これが式です。ここにいろいろな数値を入れていくんですけども、その結果出た答えは、最低に見積もって100万個、われわれと同等、あるいはそれ以上の文明のいる星の数が、最低100万個はあるだろう。一つの銀河系内だけです。ということは、そいつらもやがては飛んでくるに違いないということが言えるのです。

これは宇宙飛行士が撮ったUFOの写真とされています。手前に見えるのが宇宙船です。外のほうに見えるのは地球で、そのうえに白くぼつん

と見えているのがUFOですけども、こうした



UFOを見るたびに、宇宙飛行士は地上の管制センターに報告しています。

ところが管制センターのほうでは、なんだか分からない。したがってUFOということになったわけです。これもジェミニの宇宙飛行士が目撃して撮ったUFOの写真で、下のほうにきのこのよなものが二つ写っています。



ですけども、これがなんだか分からないUFOです。この大きさは、青く写っている地球と比べますと、おそらく直径数キロから数十キロという巨大なものです。これが2個、宇宙船と一緒に飛んでいたと言われています。

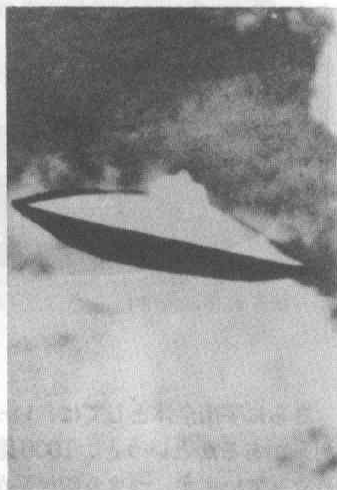


これもアポロの宇宙飛行士が3人で目撃して撮影した写真で、右の上のほうに見えているタツの落とし子みたいなものがそれです。これは見た宇

宙飛行士によってそれぞれ違うことを言っていますけれども、L字型に見えた、あるいはカバンを開いたように見えた。もう一人の人はシリンダーのようになかが中空だったと言っていますけれども、それはたぶんこれを縦に見たんでしょう。

これはカメラのフォーカスと、地球との距離とを考え併せると、おそらく長さが数十キロ以上のものというふうに考えられます。

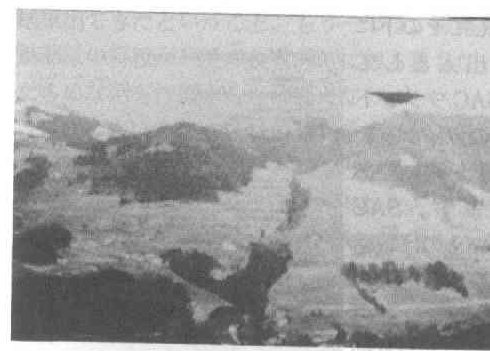
これは朝鮮戦争のときにアメリカの海兵隊の爆撃機のすぐそばを一緒に飛んでいたものを撮影したものです。このように、朝鮮戦争もベトナム戦争も、第2次世界大戦も、とにかく戦争のたびにこうしたものが



現れまして、おもしろそうに見物していたというか、一緒になって飛んだり、軍艦に近づいたり、飛行機に近づいたり、飛び回ったそうです。

なぜか戦争には非常に興味があるらしい。実はアメリカでは第2次世界大戦直後、つまり1945年の末から1946年には、すでにUFOという代物が宇宙から来たものであるということがはっきりしていました。それはどういうことかという、第2次世界大戦当時、アメリカ側ではフーファイター、つまり幽霊戦闘機と名前を付けていた、羽もなければ尾翼もない、エンジンもジェットもなにもくっついてないという代物がしょっちゅう飛び回っていたことを知っていました。

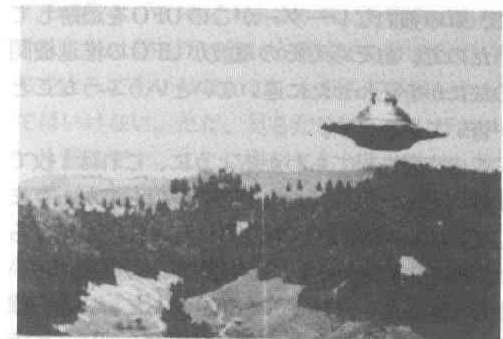
それをアメリカ側はナチの秘密兵器だろうと思っていましたし、ナチのほうも連合軍側の秘密兵器ではないかと思っていたわけですけども、戦争が終わってから、みんなも知っているように、アメリカとソ連がドイツの科学者を半分ずつ山分けにして連れていきました。そこで徹底的に尋問した結果、ドイツにはこれだけの優れた科学力を持った乗り物はないということがはっきりして、では宇宙のものではないかなということになったわけです。



これはみんなもよく知っていると思うんですけども、スイスのビリーマイヤーという片腕の農夫が200枚ぐらい撮ったUFOの写真のうちの1枚です。この写真でわかるように、スイスは日本よりも狭くて、したがってあっちこちに人家がたくさんあります。このUFO写真はどうも長い線で吊って撮ったのではないかという、非常にいい加減なことを言う、UFO研究家がありますけれども、それはなかなか難しい。

これだけの広い画面のなかにあれをぶら下げるということになりますと、まずあれ自体が直径5、6メートルはなければいけないだろうし、それを下げるためには、ものすごく巨大なクレーンを持って行って吊るなければなりません。それを吊る糸が見えないほど細くては、落ちてしまいますので、相当太くなければいけないでしょう。

そんなことまで考えなくても、実はこれはアメリカのジェット・プロパルジョン・ラボラトリーという、NASAの下部機関の技術者がコンピューター分析をして、糸の跡はない。それから二重露出の跡もないということがわかっています。



これをコンピューターではっきりさせたら、このように写りました。これはリモートセンシングという技術で、いま人工衛星から地上のものを撮影したときに、その写真をさらに鮮明にさせると

いう技術が非常に発達しております。地上の30センチ四方のものは字が読めるぐらい鮮明に写ると言われています。

その技術で、さっきのぼやっとした写真をここまではっきりさせました。その結果いろんなことがわかったんですけども、まず太陽の光線の方向が下の景色と同じである。それからUFOの底のほうにこの景色が写り込んでいるということまでがわかっています。

それにしてもぶんぶく茶釜みたいな不思議なかつこのUFOというのは、どう見てもつくりものとしか思えないぐらい精巧にできていて、しかも金があっちこちに張ってあるというすごい代物です。金ぴかです。金は、みんなも知っているように、導電率としては最高にいい。このへんもなにか関係があるのかもしれない。

アメリカに落ちたUFOと宇宙人



これはアメリカで画期的な事件といわれている情報自由法によるUFO裁判です。実はアメリカの政府およびその秘密調査機関、たとえばCIAとかFBI、NSAとかいうところはどうもUFOに関して必死に調査研究しているらしいにもかかわらず、一般には公開しないで隠しているということが、長年の研究でわかっていました。

そこでニクソンのウォーターゲート事件をきっかけに、アメリカには情報自由法という法律ができました。これは一般市民が要請すると、どのような秘密の書類であろうと政府はそれを公表しなければいけない。ただし、もしそれを公表したときに、アメリカの国家が根本からひっくり返るような場合はしなくてもよろしい。

こういう法律ができて、それに基づいてセイハース・アンド・セイハースという弁護士事務

所、つまりニクソン追い落としに一役買った有名な弁護士事務所のピーター・ガーステンという人が先頭に立って、CIAを訴えるということを行いました。

ここに「CIA イズスードオーバー UFO カバーアップ」と書いてありますけれども、CIAはついにUFOを隠していることを訴えられたという意味です。これは新聞記事なんですけれども、このときの判決が1978年に出ました。そしてアメリカ連邦裁判所は、CIAに隠しているUFO関係の極秘文書を全部出さないという命令を下しました。

これにはまだ前の話がありまして、それまでのあいだというのは、CIAも、もちろん国防省も、空軍も、NASAも、NSAもDIAも、とにかくありとあらゆる機関はみんな口をそろえて、市民からの問い合わせがあったときに、われわれはUFOの存在を認めていない。そんなものが宇宙から来ているとはとても信じられない。したがってアメリカの政府機関はいっさいそういうものは研究したこともなければ調査したこともないので、極秘文書なんてものはあるわけじゃないかという答えをずっと発してきたわけです。ところが、ここで裁判に負けた結果、なんと935ページものUFOの極秘文書なるものを出してきました。



見てもわかるように、あっちこちまづいところは全部墨で消してあります。しかもなかには墨で消し忘れたというまぬけなやつがありまして、CIAばかりではなくて、空軍も、国防省も、それからNSAというところも、FBIもみんなそれまで隠していたものをしぶしぶと出してきました。

そのなかの一つ、これはほんの一例ですけれども紹介しますと、1950年の3月22日付になっています。宛先は上のほうにあります。CIAの長官殿、「トゥ・ディレクターFBI」と書いてあります。

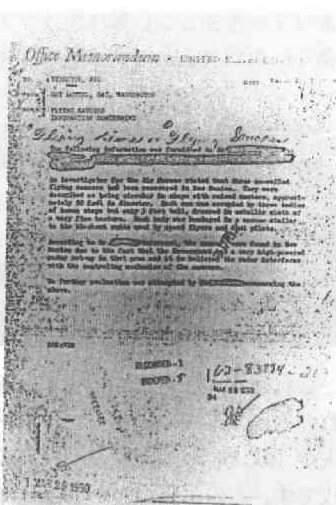
そしてその下に差出人として「SACワシントンのガイホッテル」と書いてあります。SACというのは戦略空軍機動部隊のことです。そのワシントン基地のガイホッテルという将校が、FBIの長官にあてて書いた緊急のメモなんです。

書いてあることを、小さい字ですから読んでしまいますと、ニューメキシコ州に3機のUFOが墜落しました。行ってみましたら直径15メートルぐらいの円盤で、上のほうにドーム状のものがくっついていました。なかにそれぞれ3人ずつの人間に似た小さな生きもの、身長90センチから1メートルぐらいのものが3人ずつ死んでいました。それらは体に金属で織られた非常に優美な服を着ていて、椅子に縛りつけられていたというか、シートベルトみたいなもので固定されていました。

このUFOと宇宙人の死体をどうしたかというのは書いてありません。つまりそういうものが見つかりましたということを経済に報告した報告書の一部です。そして、ある推測によりますと、これはなぜ墜落したかということが書いてありまして、軍の強力なレーダーがこのUFOを追跡していたので、おそらくその電波がUFOの推進機関のなにかを狂わせたに違いないというふうなことが書いてあります。

この文書を見てもわかるように、これは1枚ですけれども、実は何百枚もこの手のものがありまして、なかにはUFOを追跡したけれども逃げられてしまったとか、あるいは空軍の戦闘機が追いかけて行って、ミサイルをロックして、いざ射撃しようとしたら、こちら側の計器が全部狂って落ちそうになったという報告書が続々と出てきています。

信じたくない人は、この文書もいんちきではないかと言いたがるんですけども、これは裁判の



結果出てきたということ。もう一つは、戦略空軍機動部隊の将校がFBIの長官あてに根も葉もないでたらめな話を打電するとは思えない。

ほかにもいろいろ証拠がありますけれども、したがってこれは本当だということが言えると思います。ということは1950年の少なくとも3月には、こういう事件が起きて、9人の宇宙人の死体と、三つのUFOの残骸が手に入ったということがはっきりします。

MJ-12

ところが実はそれ以前にも、どうもいろんなことが起きていたらしくて、これがいま話題になっています MJ (マジスティック) - 12 文書というものです。これはご存じない方もいらっしゃると思うのでかいつま

んで話をしますと、表紙のいちばん上に「トップシークレット」と書いてあります。つまり秘密に分類されている文書のなかでも、文字どおりトップの秘密であります。したがって数えるほどの人しか見ることができない。

その次に「アイズ・オンリー」と書いてあります。これは見るだけという意味でありまして、メモをとってもいけないし、もちろんコピーをとってはいけません。ただ、見るだけにしてくださいという意味です。ここに書いてありますのは、次に大統領になるはずのアイゼンハワーさんにあてて、アイゼンハワー氏がホワイトハウス入りする前に、あらかじめ目を通してほしい概略の説明書ですということが書いてあります。日付は1952年の11月18日、書いた人は当時のCIA長官のロスコー・ヒレンカーター提督です。

内容を読んでみますと、1947年の7月7日に至って、ニューメキシコ州のロズウェルという陸軍航空部隊のさらに東のほうに行った、非常に人里

離れた牧場主が、自分の牧場になにやら破片がたくさんまき散らされているといってきた。

そこで陸軍が回収部隊を派遣したところ、UFOの破片らしいものをたくさん回収した。そしてその近くに四つの小さな

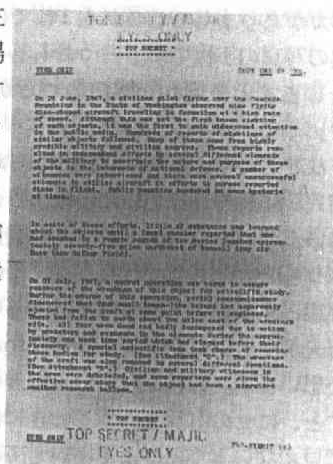
人間の姿をした生きもの死体を発見した。これもひそかに回収したと書いてあります。実際にこの事件が起きたのは7月2日だということがわかっています。

そしてこの事件そのものは本当に起こったんだということを証明する証人にも、ぼくは5、6人会いました。したがってこの事件そのものは本当に起こったんでしょう。



これは、この事件とは直接関係ないんですけども、1950年の初期に、メキシコとアメリカのテキサス州との国境近く、それもメキシコ側にUFOが墜落しまして、それに軍の写真班が招集されてそこで600枚ぐらい撮った写真のなかの1枚をくすねてきたものだということになっています。宇宙人らしいやつは焼けこげていますけれども、これが頭、たぶん後頭部です。下を向いている。それでこっちにこういうふうな体があって、ここが肩で、腕がこう折れ曲がって、ここに手の指らしいものが見えます。

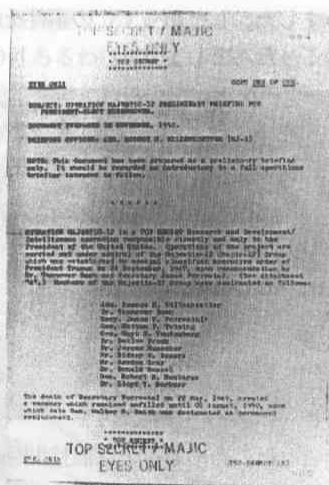
この写真についても、本当だの、うそだのと、いろんな論議があるわけですけども、実はこの



ネガがありまして、これも1枚ではなくて、十何枚の写真の1枚です。一つおもしろいことをお教えしますと、壊れた眼鏡のつるがここにあります。

なぜこんなところに眼鏡のつるがあるのか。宇宙人が眼鏡をかけていたとは、ちょっと考えられない。たぶん回収に向かった作業員、軍のブルーベレーの人たちですけれども、その人たちの一人が誤って落として割ったか、あるいはメキシコの農夫が手伝いに来ていて割ったかどっちかだろうと思います。仮にこれをいんちきの写真だとしますと、にせの写真をつくる時には、それがにせに見えないように、よく検討して、何回も何回も怪しいものがないか調べてから写真に撮るだろうと思われまふ。ということは、こんなところに眼鏡のつるなんか置いておくわけがない。逆に言うと、これは本物かもしれないと言えるかもしれません。ちなみにこのネガは、分析の結果、1950年代初期に売られたものだということがわかっています。

さて、回収した宇宙人の死体とUFOの機体はどうなったかといいますと、MJ-12文書にはそれがはっきり書いてあります。当時の大統領、つまりアイゼンハワーの前にいたトルーマンがこの事件を聞いて、これは一般大衆から隠しておくべきだと決定した。そこで大統領特別の命令でもって、秘密の調査委員会を発足させた。その暗号名をMJ-12と名づけた。メンバーは12人にした。したがってMJ-12という名前が付けられたんですけれども、この12人の名前がここにはっきりと書いてあります。いちばん上がこの文書を書いたロスコー・ヒレンカーターというCIA長官です。次がドクター・バンネバー・ブッシュ氏と書いてありますが、当時の第1級の物理学者です。その次がジェームス・フォレストルという言う国防長官、その次が



ネーザン・トワイニングという将軍です。

そういうふうにだいたい軍人と科学者で12人が構成されています。この12人の使命は、一般大衆からこの事件を隠すこと。つまりUFOと宇宙人の存在を隠すこと。次にそれらの物体と宇宙人の死体とを調査、分析、研究するトップ機関とすることというふうに書いてあります。

そしてこの概略説明書には、だいたいの結果が書いてありまして、まず第一に、UFOの機体については、いくら調べてもジェットエンジンもプロペラもついていなかった。それからエンジンらしいものはいっさい見当たらないし、電線もないし、真空管もない。プラスチックもガラスもなかった。だからいったいどういう原理で飛んでいるのか、まったくわかりませんということが書いてあります。

宇宙人の死体に関しては、解剖したんだけど、死後1週間はたっているの、いろいろな野生動物が食ったあとがあって、しかも腐敗が進行していた。だからあまり詳しいことはわからなかったけれども、はっきりしていることは、地球上の人間とはまったく違う進化の過程を経て生まれた生きものであると書いてあります。

これはどういうことかと言いますと、われわれ人間はほ乳類から進化しましたが、これはほ乳類から進化したものではないということです。

これはMJ-12とは関係ないんですけども、かなり有名な写真で、いまの東ドイツ、当時はドイツですけども、そこにUFOが2機、1949年に墜落しまして、そのなかに乗っていた宇宙人がつかまった。残りは死んだという話です。つかまったやつを、これからアメリカのライトパターソンというオハイオ州の空軍基地にある宇宙生物学研究所に送る直前に、秘密警察が連行するところを、地元の新聞記者がとって、それを新聞に載せた。けれども全部回収されてしまった。そういう



代物です。ちなみにこの宇宙人はアメリカへ行く途中の飛行機のなかで死んだと言われてますし、そのあとライトパターソンのブルーームと言われてる秘密の部屋で、これがカプセルのなかに入っているのを見たという人が何人もいます。

UFOを信じるな

CIAは、この写真が出回ったものだから、にせものだというふうにしたと考えまして、同じ写真をそれから10年近くあとに、アメリカの片田舎の新聞に載せました。そしてそこでは2人の青年が自白したということにして、2人は賭をした。これが宇宙人と認められた場合にはおカネがもらえる。そして猿の毛を剃って、こういうでたらめな写真をでっち上げたんだという記事を書きました。しかもそれはアメリカで起こったことであるわけです。

それに惑わされて、一部のUFO研究者たちが、これは猿の毛を剃ったものであると、言っておりますけれども、よく見てみると、どこが猿なんだかよくわからない。まず第一に、この足です。猿はどんなに伸ばしても、足がまっすぐにはなりません。ひざが曲がったままです。

次にこの大腿部の筋肉が、猿はこんなに発達していません。つまりこれは2足歩行をしている動物でないと、これだけ大腿部の筋肉は発達しない。次にこれは8頭身以上でスタイルがいい。猿はこんなにスタイルがよくない。さらに、ここにある、わけのわからない筋肉は、猿にはないどころではなくて、地球上の生物にはない。ムササビにはあるかもしれないけれども、これはムササビとは似ても似つかない。

顔が人間に似ているというのはありますけれど

も、顔はひょっとしたらお面をかぶせたのではないと言われてたら、そうかもしれない。しかしこの筋肉とこの筋肉はおかしい。これをディズニー映画をつくっている専門の人に見せたところ、そう言っていました。

それから後ろのこの人たちの演技が迫真的です。すごく怖がっていますよね。恐る恐るのぞき込んでいる。いろんなことから、これは本物ではないかと思われているんですが、真偽のほどはよくわかりません。

しかし身長が90センチから1メートルという、だいたいこんなものでしょう。

そのMJ-12に書いてあった内容が本当かどうかというの、よくわかりません。つまりMJ-12文書そのものが本物かどうかよくわからないけれども、いろいろな証拠から見て、おそらく本当だろうと思われまふ。したがってアメリカの軍が宇宙人の死体とUFOを回収したのは1947年であるということには、ほとんど間違いがないでしょう。そのあと、MJ-12という機関が発足して、全部のマスコミに流れる情報をコントロールして、いっさいUFOと宇宙人の存在を認めないようにしていったということは、ほぼ間違いないと思います。

その一つの証拠としては、CIAの文書が出て来たことがあります。それには1950年代の初期に、UFOに関する科学調査委員会を発足させた。その結論として、UFOは存在しない。宇宙から来ているという証拠はない。したがって今後いっさい研究する必要なしということにした。

しかし実はそれはCIAがすり替えたのであって、本当の結論はUFOについて、もっと研究しなければいけないというものであった。その文書のなかにもっとおもしろいことが書いてありまして、一般大衆がUFOを信じなくする作戦を、今後、マスコミを使って流していかなければいけないというものです。

UFOを信じなくする作戦というのはどうなのかというと、プロジェクト・ディバンクと言いまして、暴露作戦と名づけてあります。たとえば実際に飛んでいるUFO実写フィルムを、テレビや映画で流せ。それを見た観客が「すごい！」と思ったところで、次のシーンで、それが実は灰皿を投げ上げて撮ったいんちき写真だということばらす。そうすると、「なんだ、やはりそうだった

のか」と言って、みんなが「UFO」と聞いたら頭からばかにするだろう。

その作戦を遂行していくべきであるということを書いてあるCIAの文書が出てきています。われわれもそういう作戦のうえに乗っけられていて、「UFO」と聞いたらばかにするという習慣をつけられてしまっていると考えると、おそらく間違いはないでしょう。

これはアメリカのフロリダ州にあるガルブリーズという小さな町で、6000人の人口なんですけれども、そのうちの5%ぐらいの人がずっと見ている。いまでも飛んで来ているというUFOです。このガルブリーズでは、どうやら宇宙人が集中的に人間をさらって、UFOのなかでなんらかの身体検査をして、そのあとで記憶を消してもとに戻すということをやっているらしいということが、だんだんわかってきています。

この町の建築会社の社長さんで、エドワード・ウォルターズという人が、夜、道を走って歩いたら、急に目の前にUFOが下りてきて、着陸した。

その着陸したときの写真が次の写真です。



これです。地面にUFOの下からもれている光がはっきりと写り込んでいます。さっきの道路です。ちょうどこのへんに下りていたわけです。

これから見ると、だいたい直径が6、7メートルという大きなものようです。

人間が宇宙人にさらわれた

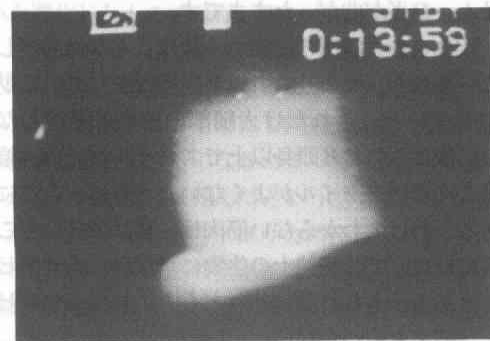
こういう宇宙人による人間を誘拐するという事件は、全世界中で起こってしまっていて、これはブラジルの、アントニオという人で、この人はUFOにさらわれて、宇宙人の女性らしいのとセックスをさせられて、子供をつくらされたと言っているん

です。

その話だけを聞くと途方もないんですが、よく調べてみるとどうも本当のようで、これはブラジルだけに限らず、アメリカでも何十例も見つかっています。宇宙人によって混血児をつくらされた。しかも妊娠して3か月ぐらいのあいだに、妊娠した側の女の人の人から胎児をとられてしまう。いつのまにか抜き取られてしまうという奇怪な事件が、たくさん起こっています。



これはソ連のグルジア共和国で、人間がしょっちゅうUFOにさらわれて、いろいろな手術をされたり、傷をつけられたりしている。これはその傷の一つなんですけれども、この人だけではなくて、グルジア共和国でも、いまわかっているだけで何十人かがやられています。



これがもっとも恐ろしい写真と言ってもいいか

もしれないんですけども、アメリカのある女性がUFOにさらわれて、宇宙人に体のなかになにかを埋め込まれた。つまり記憶を消されているわけですから、意識のなかではわからないわけけれども、どうも時間が合わないというので、あっちこちの心理学者なんかに相談した結果、催眠術を受けてみるという話。

催眠術によって記憶を取り戻したところ、宇宙人になにかを埋め込まれたらしいということがわかってきた。それも、どこから埋め込まれたかという、口のなかで、これは口のなかの写真です。これが舌で、これが上顎です。歯が写っていません。歯はもっとこっちです。つまり喉の奥と前歯のあいだ、この上顎のところ二つの穴が開いています。

ふつうは、こんなところに穴が開いていません。トカゲじゃないんだから。みんなも家に帰って、鏡でよくみてください。もし穴が開いていたら、あなたは何かを宇宙人に埋め込まれた可能性があることになります。

これはひとつの例にすぎないけども、同じような写真が十何枚あります。つまりいろんな人が同じところに穴が開いているんです。宇宙人にさらわれたということが催眠術によって思い出された人の口のなかを調べてみると、同じところに同じ穴が開いているということが、十数件見つかっているわけです。

このほかにも、こういう針のようなものの先に丸いものがくっついたものを、鼻の奥に宇宙人に突っ込まれて、その針が出てきたときには、先の丸いものがなかったということを思い出した人がいます。

それは直径が1センチ足らずの小さな玉なんですけれども、なにかのリモートコントロールの機械か、もしくはモニター装置ではないかといわれています。これは有機系のものでできているらしくて、レントゲンには写らない。しかしMRIというCTスキャンの一種で見ると、はっきりと写っています。それによって発見された人も十何人見つかっています。

ほとんどが脳下垂体のあたり、あるいは脳の後ろのほうの奥に埋め込まれていて、人間の技術では危険で取り出すことができません。もう一つ、眉間の奥というのがあります。

そういうわけで、本当に恐ろしい話ですが、連

中はすでに人間をモルモット扱いして、いろいろなことを調査、研究しているらしい。しかしその目的はまったくわかりません。ただ一つ推測できるのは、われわれの宇宙飛行士が将来宇宙船に乗ってよその星に行ったとします。その星に自分たちよりもプリミティブな動物たちがいたとします。

そうするとまずその連中の生体調査をしようと、だれしも思いますね。おそらく宇宙飛行士のなかにも生物学者はいるだろうし、文化人類学者もいるでしょう。そういう人たちが、まず社会的な形態や、そのほか、彼らの組織とか、性質、生物学的な特徴とかを調べようとするでしょう。そして経年変化を見たいと思うでしょう。

そうなるとうちょうどわれわれが鳥を観察しているときに使うように、一つずつ印を付けます。そして5年ごとに調べる。あるいは1年ごとに調べるということをして。たぶんそれと同じことを、われわれに対してもやっているのではないかと推測できる。つまりわれわれはモルモット側で、彼らが人間側だというふうに考えればいいわけで、それは彼らが住んでいる星がわれわれの地球よりも少し早くできていけば、1億年違ったらたいへんなものです。まして10億年も20億年も違っていれば、ものすごい差があるはずなんです。

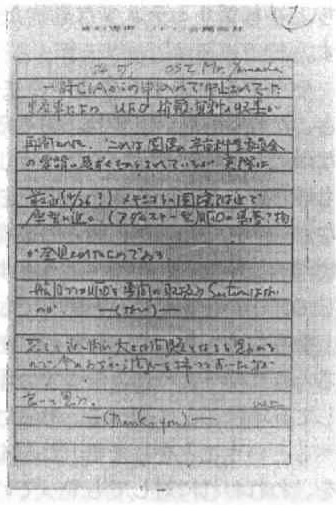
1000万年でもいいでしょうし、1000年でもたいへんな違いです。いましばらく江戸時代の最高の科学者と話をしてお互いに話を通じるか。わずか400年しか違わないんだけど、全然話を通じないでしょう。おそらくそういうことを考えていくと、彼らはわれわれの生物学的な調査というのを、組織的に全世界で行っているらしいということが言えるかもしれません。

日本にUFOはいないのか

日本が比較的少ないのは、まず第一にみんなのあいだに、非常に強固に、UFOというものはばかばかしいSFの話だということが徹底しているから、おかしいなと思って名乗り出る人がいない。次に人口が密集しているものだから、人知れずさらうのがなかなか難しい。こうしたことがあるかもしれませんが、アメリカでもこれ専門に十何年も研究してきた人の話によりますと、

おそらく人口の7%ぐらいはさらわれて、なんらかの身体検査を受けるか、器具を埋め込まれていると言っています。1億人の7%と言ったら700万人、これはたいへんだ。みんなも入っているかもしれない。

アメリカの国防省が隠しているのはわかった。日本の防衛庁はどうか。ここにおもしろい文書があります。これは自民党の香川県連支部が、自民党本部を通じて防衛庁に、UFOに関する極秘文書はない



のかという問い合わせをしまして、相手が自民党だものだから、防衛庁の広報部の人も一生懸命探しまくりました。

そして防衛庁内にあったUFOに関連するものを一切合財、コピーして送ってくれたもののなかに、これがあったんです。これは昭和54年だと思えますけれども、5月1日、OSI・ミスターヤマダと書いてあります。OSIというのは、実在するアメリカの空軍の部署で、オフィス・オブ・スペシャル・インベスティゲーション、つまり特別調査局ということです。これは全世界にありまして、局東支部長にミスターヤマダという人がいます。おそらく2世です。ファーストネームはアメリカ人です。

この人が防衛庁を訪れて、幹部に対してレクチャーをしたと思われます。これはそのときのメモだと思んですが、読み上げてみますと、一時CIAからの申し入れで中止されていた米空軍によるUFO情報資料の収集が再開された。これは国連の宇宙科学委員会の要請に応ずるものとされているが、実際は最近(4月26日)、メキシコとの国境付近で原形に近いアダムスキー型UFOの墜落物が発見されたためである。

これはかなりショッキングなことを言っているんです。4月26日というのは、だから54年のことでしょう。昭和54年の4月26日にメキシコ国

境付近で……。ということは、さっきの焼け焦げた死体あたりがそうかもしれません。「それが発見されたためである」とはっきり言い切っています。航空自衛隊では、UFO専門に取り扱うセクションはないのかと、ミスターヤマダが聞いたのに対して、防衛庁側は「ない」と答えたいらしい。おそらく近いうちに大きな問題となると思われるので、いまのうちから関心を払っておいたほうがよいと思うとヤマダさんが言ったら、「サンキュー」と防衛庁が答えたと書いてあります。

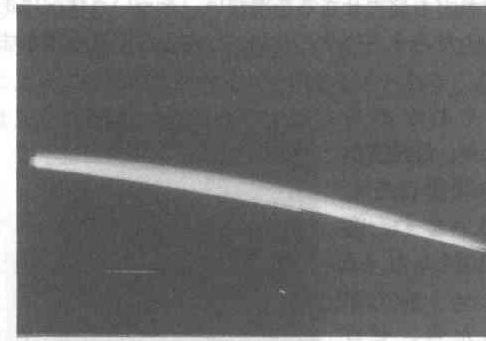
これは明らかに防衛庁のなかにあったメモで、それも広報部の人を送ってくれたわけです。だから少なくとも昭和54年、いまから11年前には、防衛庁の人はアメリカがこういうものを持っていることを知っていた。つまりUFOの墜落物と宇宙人の死体を回収したことは知っていたはずなんです。その後、防衛庁はどうか。これはわかりません。いま正式に聞いてみると、「そんなものはありません」と言うし、このメモに関しても、「まったく知らない」と言い張ります。

そういうわけで、UFOに関してはまだまだ恐ろしいことはたくさんありますけれども、そうそう恐ろしがらせてもしょうがないので、これが限度だろうと思うから、ここまでにしておきます。最初に言ったように、事実は小説よりも奇なりで、本当にすごいことが、いまわれわれの周りで起こっています。

ただし、そんなに心配することはないというのは、これまでに少なくとも四十何年、彼らが一度も侵略しようとしたことはないし、われわれをとって食おうとしたこともないので、まずそういう意図はないだろう。だからそうそう心配することはない。さらわれても、ちゃんと記憶を消して戻してくれるし、さらわれる頻度は、交通事故よりは少ないんじゃないかと思うので、それほどのことではないんですが、さてそういう外圧に対して内圧というのはいったいなんだろうかと、環境問題です。

異常気象とのかかわり

これは地球を取り巻いている空気層です。下のほうが地球で、上の真っ黒いところが宇宙空間で、この白く光っているところが空気なんですけれども、われわれが住んでいられる、つまり息を



していられる範囲はいかに小さいかが、これでわかります。

地球をりんごにたとえますと、りんごの皮の10分の1にも満たないぐらいの薄さです。このなかにしかわれわれは生きていられない。しかもこの大気が最近異常なほど汚染されてしまっていることは、みんなも新聞で知っていると思うけれども、実は新聞や雑誌を見たときに、そのときは「ああ、たいへん」と思っても、次の日にやってないともう忘れてしまうということが度重なっていると思うので、いまからそうした新聞の切り抜きをずらっと並べてみます。並べて見ると、初めて恐ろしさがわかってくると思います。

いまやみんなも身をもって感じていると思う。冬はスキーができない。夏も冷夏続きで、海岸あたりの露店はどどんつぶれている状況です。異常気象がどどん始まっている。

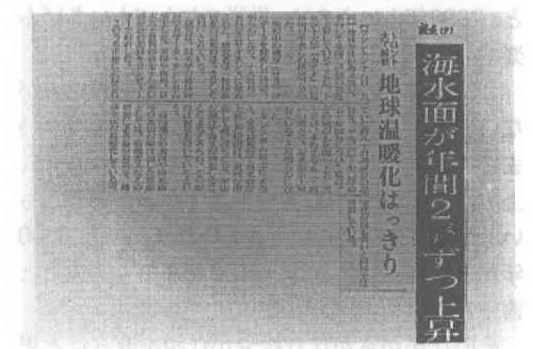
異常気象の元凶はなんであるかと言いますと、温室地球だ。この温室地球というのはどういうことかということ、地球上の空気に炭酸ガスが増えすぎってしまった。炭酸ガスというのは、石油や石炭を燃すと出てきます。つまりいちばん悪いのは自動車、その次に火力発電所とか、その他の工場です。

こうしたものから出る炭酸ガスが増えるとうるまじいことが起きるかということ、太陽から入ってくる熱が逃げなくなってしまう。夜になって地球は冷えなきゃならないのに、冷えない。翌日また日が照るとあったまるといふふうにして、地球全体の平均気温が上がってきてしまうということです。これはそれが90年代からというのを予測したアメリカのEPAの警告ですけれども、いままさに今年が90年の始まり。もうすでに温室地球が始まって、異常気象が恒常化してきているということです。

その結果、どういうことが起きるかということ、ここで言っているのは炭酸ガスのペールで水が溶けて、水位が上昇するだろう。この場合の水というのは、南極と北極の水です。そういうものが溶けると、いったいどのくらい海面が上がるかといいますが、5、6メートルとEPAは言っていますが、1978年にカーター大統領の特別諮問委員会が出した、100人からの科学者が3年間かかってやった結論から言うと、60メートル。全部溶けたらもっとすごい。

百何十メートルだか200メートルだか忘れちゃいけない。とにかくそれだけ海面が上がってしまう。

こうした南極や北極の水が、では、本当に溶け始めるんだらうかということ、どうやら本当のようです。



これはトロント大学が解析した結果なんですけれども、海面が年間2ミリずつ、いま上昇してまよいうことを言っています。したがって温暖化がはっきりと、結果として出てきた。

これは、去年の4月、日本の気象庁が発表した異常気象白書ですが、それによると二酸化炭素、炭酸ガスがどどん増えていった結果、温室効果が強く出てきて、2030年代には平均気温が1.5度から3.5度上がる。その結果、どういうことが起きるかということ、異常気象白書によりますと、25センチから1.2メートル海面が上がるだろう

と言っています。

東京沈没

1.2メートルという、高潮が来ますと5、6メートルの高波が来ますから、東京のほとんどが水没するでしょう。そのことが

ちゃんとここに書いてありまして、万一1.5メートルも上がったらいへんだということです。だから堤防をなんとかしなければいけないというようなことを考えているようです。

ちなみにここに1.5度から3.5度上がると書いてありますけれども、平均気温が2度上がったなら60メートル上がるというのは、カーター大統領の特別諮問委員会の当時の結論です。そのことから考え併せると、どうもこれにはおまけがしてあるらしい。つまり海面1.2メートル上がるというのと、2030年というのは、学説のなかでもいちばん楽なやつを取ったと思われま

す。こういうことがいままで一度も起こったことがないので、いろいろな人がいろいろな学説を並べていまして、まったくわからないという人もいれば、上がるとすれば100メートル上がるという人もいるし、2030年だという人もいれば、いや、2000年だという人もいるし、2100年まで大丈夫だと言う人もいる。

そのなかからかなり緩やかな説を取ったと思う。それはどうしてかという、たとえば君たちのだれかが、自分が気象庁の長官であったり、あるいは首相であったり、つまり為政者側に立ったと考えてごらん下さい。そんなにたいへんだとすると、仮に2000年に1.5メートルも上がるということだとすると、そんなことは発表できない。

なぜならば、アッと言う間にパニックが起きて、株価は大暴落するし、とんでもないことになるでしょう。そんなことは発表できないので、なるべくならば内輪に見積もって、いちばん楽なやつを発表する。できることなら発表したくない。



けれども発表せざるを得ない。そういう状況にあるんだろうということが、なんとなく読み取れます。

それかあらぬか、建設省が中間報告をしています。海面がもしも1.5メートル上がったら、ゼロメートル地帯は3.5倍に増える。日本全国で、1000万人が疎開しなければならぬと書いて

あります。そのために建設省は、全国の港湾の堤防のかさ上げについて、調査することを始めたと言っています。

つまりもし1.5メートル海面が上がると、堤防を5メートルかさ上げしないと間に合わない。そこで全国の港湾の堤防を上げようと思うというわけです。

これに対して運輸省は、河川の堤防をかさ上げすることについての調査を始めるということ、相次いで発表しています。それはそうです。海側を全部埋めたと、川が逆流してきてあふればなんにもならないから、川の堤防も上げなければならない。

そんなことをやってもむだであって、こんなに小さな川だって、水は逆流してくるわけだから、それを全部堤防で囲うなんてことは不可能に近いことが予想されます。それも2030年、いちばんおまけして40年後です。これはおまけした数字だから、早ければ2020年、2010年、2000年かもしれない。

しかも2020年になっていきなり1.2メートル上がるわけじゃなくて、その間徐々に上がっていくわけですから、東京の土地を買うのはあまりお勧めしません。ただになってしまう恐れがあります。

こういうことは、さっきも言ったように、くるまによる炭酸ガスというのが、非常に大きく作用



しています。なにしろ自動車がいちばん元凶で、世界中隈なく、べたっと走っていますので、これによって炭酸ガスがどんどん出てくるということは言えると思います。

そんなにたいへんだったら、じゃ、おれだけでもくるまをやめようという人が、このなかにはいますか。おそらくだれ一人として、それはたいへんだから、おれはくるまをやめるとい人はいないと思う。つまりそこに環境問題の解決の難しさがあります。



じゃ、炭酸ガスの濃度が上がると、海面が上がってくるだけなら、まだなんとかいいや。おれは山のほうに引越すよという人がいるかもしれないけれども、そうはいかない。つまりそれによってなにが怖いかというと、農作物に深刻な影響が出てくる。ここでも言っていますけれども、農作物の取れ高が悪くなってくる。つまり異常気象が起こってくる。平均気温が上がってくるというのは、全体にあったかくなる一方というのではなくて、あるところがあつたかくなると、あるところは寒くなる。

つまり干ばつが起きたり、冷害が起きたり、猛暑が襲ったりということがランダムに起きてくるというのが特徴ですので、農作物のとれが悪くなってくる。

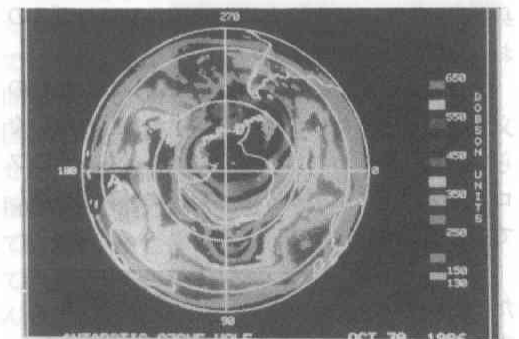


そうすると日本はどうなるかという、先進諸国のなかで自給率最低を誇っておりますので、日本にいち早くエチオピアが訪れてくる。これはエチオピアの北部で、ストックの食糧が2週間分しかない。配給が止まったら死ぬと言っていますけれども、この場合の2週間分というのは、1日分がのひら1杯のおかゆです。のひら1杯のおかゆが2週間分なくなると、全員死ぬしかないというのがエチオピアの現状なわけです。それが日本にも、近い将来くるだろうということが予測されるという怖い話です。くるまをやめなければ。

もう一つの側面から言うと、環境問題は南北問題だと言われているように、われわれ先進諸国がこういう恵まれない国の人々から食糧をはじめとして、あらゆる資源を搾取してしまうから、そして搾取したものを食べずに残して捨てるから、環境問題が起こっているのです。

つまり先進諸国のわれわれが非常に速いスピードで資源を消耗していくために、副作用として環境の問題が起きているのだということがわかります。大気汚染もそうです。

オゾン層破壊



これはもう一つ、いま盛んに言われている怖い現象で、NASAの人工衛星が撮った南極の上空の写真ですけれども、オゾン層が破壊されて穴が開いている。この真ん中にある黒い部分がオゾン層の穴です。オゾン層というのは、成層圏と言われるところからもうちょっと下に、目に見えないバリアーが張られている。これは自然にできたバリアーですけれども、それによって太陽からくる紫外線のうち、有害なものを吸収して、われわれからシャットアウトしてくれているわけです。

これがもしもとも来たら、地球のあらゆる生

物は生きていかれません。この紫外線はDNAというわれわれの遺伝子を破壊する力を持っていて、大きな生物、たとえば人間などは皮膚がんを起こして死にます。しかしそれより怖いのは、小さな生物がばんばん死んでしまうことで、土のなかの微生物が死ぬということは、農作物が育たなくなる。植物も死んでしまう。海のなかのプランクトンが死ぬ。そうすると魚も死ぬから食糧がなくなる。こういうところにみんないくわけです。

オゾン層に穴が開き始めた。なぜ穴が開くかというと、フロンガスを使うからだ。フロンガスというと、みんなが頭のなかに思い浮かべるのは、殺虫剤とかヘアスプレーなど、シューシューとやるやつだけだと思うんです。あるいはもうちょっと知識のある人だったら、クーラーとか、カークーラーとか、冷蔵庫のなかに使われていることを知っている人がいるかもしれない。

もうちょっと知識のある人ならば、半導体の洗浄に使われている。つまりコンピューター関係のものは全部フロンガスのお世話になっていると言うかもしれない。しかしまだまだあって、実は発泡スチロールをつくるのにも、ウレタンをつくるのにも、フロンがないとダメなので、われわれの身に付けているほとんどのものは、フロンガスのお世話になっています。

フロンガスをやめるとということは、われわれの文明をあきらめなければならぬかもしれないぐらいたくさん使われているんだけど、そのフロンガスが上に上がって行って、オゾン層を壊しているということです。

それじゃ南極だけだから大丈夫かという、実は北極でも穴が開いているところが発見されました。そうか、じゃ、北極と南極だけだから、われわれのところは大丈夫だなどと思うと、そうはいかないんです。

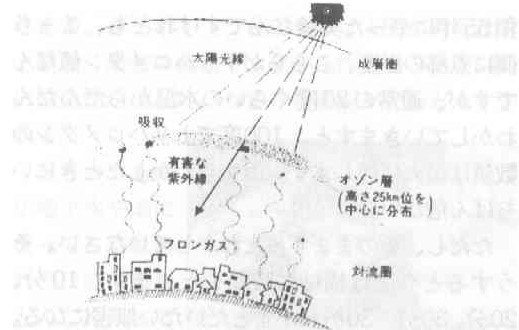


赤道上でもオゾンが減少していることが言われています。さて、ここでちょっと疑ってほしいんですけども、はたして発表は本当だろうか。つまり北極ときて、南極ときて、赤道ときて、じゃ、われわれのほうも危ないんだと思わなかったら、おかしいですね。つまりわれわれの関係のないところだけを一生懸命取り上げているのであって、北極と南極と赤道が危なかったら、こっちも危ないに決まっている。

だから日本の上空にもかなりの勢いでオゾン層が薄くなるという減少が起きているはずなんです。だから今年の夏はあまり日に焼かないように。海などに行って、真っ黒に日焼けして帰ってこようなんて無謀です。皮膚がんになる恐れが非常に大きい。

そういうわけで、オゾン層が破壊されることによって、皮膚がんになったりするということがお互いに拍車をかけ合って、われわれの命を危くしているわけですけども、これを救う方法はほとんどない。

たとえばいまフロンガスを今世紀中に全廃しようという動きがあります。これは国際会議で決議されたりしている。だけど二つの理由でむだだということがあります。一つは、もしもいまフロンガスを全部つくるのをやめてしまっても、いまま



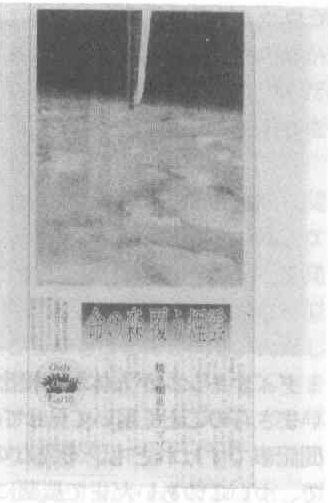
で出たのが1500万トン放出されていることがわかっています。その1500万トンのうち、いま南極と北極と赤道の上に穴を開けているフロンガスは、わずか10%の150トンだけ。

残りの1350トンはいまもって空気中をうろろろしてしまっていて、これが徐々に上に上がって行って、オゾン層を壊すということを、向こう100年間続けて行きます。つまりフロンガスの寿命は100年ある。しかもここで30年ぐらいかかって10%しか使っていないわけですから、いますぐやめても、どんどん穴は開く一方でしょう。

もう一つの理由は、東欧諸国を見てもわかるように、これから西欧諸国に追いつき追い越せて、いま西洋文明を取り入れようと必死になっています。そういうところに、フロンガスを使うな。自動車を増やすな。工場をやめると言ったって、やめるわけがない。だからほとんど絶望ということが言えます。

失われいく熱帯雨林

これはNASAがいままでいろんなことを隠してきただろうということ象徴している写真です。「読売新聞」に去年載った写真なんですけれども、これはスペースシャトルが撮ったアマゾン上空の写真だと言われています。そして、これが雲だと思いきや、実は煙です。



この煙は、アマゾン焼いて、その煙が雲のように全部を覆ってしまっているというものなんですけれども、ここに写っている範囲はどのぐらいかというと、南米大陸全部です。言い換えると、南米大陸の上空をアマゾン焼いた煙がすっぽりを覆ってしまうぐらい、アマゾンの乱開発が進行している。ご存じのように、酸素を供給しているのは熱帯雨林と言われてはいますが、そこがこれぐらいのスピードでなくなっているわけです。

どうしてNASAがうそをついているかということ、NASAが人工衛星を打ち上げてから何十年たっていますか。その間にどのぐらいの写真を撮ったか。おそらく何千万枚と撮ったでしょう。そういう写真には、この手の写真がいっぱいあったはずなんです。どこの海が壊れている。どこの森林がなくなっている。全部わかっているはずなのに、いままで一言も言おうとしなかった。オゾン層の破壊だって、とうの昔にわかっていたはずなんです。でもほっかむりしてきたんです。なぜかという、為政者はわれわれのパニックを恐れたからです。

これは「失われいく世界の熱帯雨林」という代

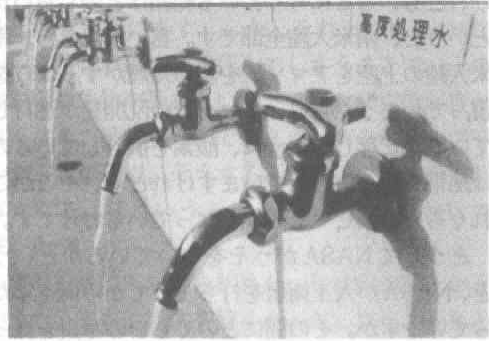


物ですけども、はっきりいっていま世界中で言えば、1年間に本州、四国、九州を合わせたぐらいの面積の森林が消えています。そして砂漠はどんどん進行していて、たとえばアフリカのサヘル地区というところ、アフリカの砂漠のいちばん最南端ですが、ここは毎年1年間に20キロから50キロのスピードで砂漠化が進行しています。つまり今年ここが砂漠のはじだったとすると、来年は20キロも30キロも先まで、そのぐらいのスピードです。

水が危ない

それからこれは水です。全国の水道水からトリ

ハロメタンという有害なというよりも、もう強力な発がん物質が発見されていることは知っている

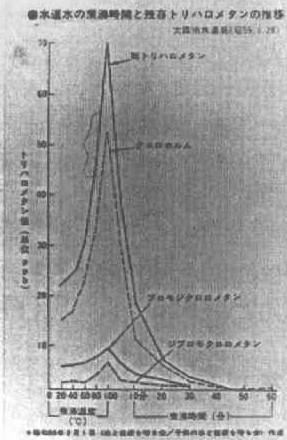


と思うけれども、最近になって、その何十倍もすごいMXという発がん物質が含まれていることがわかってきました。

こうしたことをなぜほうっておくのかというと、われわれがなんにも言わないからです。行政は水道料金の値上がりか怖いから、あれは公共料金ですから、だからほっかむりをして、いまの水道の浄水設備を直すことをしないわけです。

トリハロメタンなるものがどうしてできるかというと、水が汚れているので大量のカルキをほうり込む。そのカルキと水のなかの汚れた物質との化学反応の結果できるものですが、このトリハロメタンによってどのぐらいの発がん率が見込まれるかと言いますと、ネズミで実験した場合、2匹に1匹、つまり50%の発がん率です。

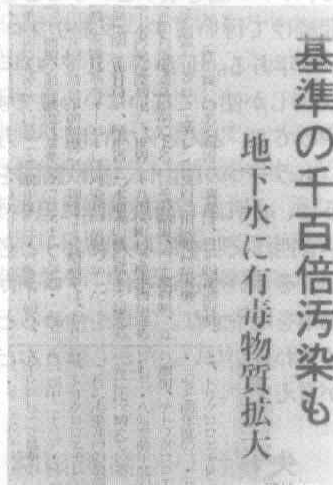
そういうのをわれわれは毎日飲まされているわけですが、水道局の人になんとかしろと言いますと、「そんなもので虫1匹死にませんよ。だから大丈夫です」「でも、毎日飲んでいたら、だんだん蓄積するじゃありませんか」「それはデータがないからわかりません。そんなに心配だったら、わかしてお飲みなさい」と言いますが、実はそこにうそがありまして、この絵は大阪市水道局が昭



和55年にやった実験なんですけれども、こっち側に煮沸の温度、こちらがトリハロメタン値なんです。通常の20度ぐらいの水温からだんだんわかしていきますと、100度でトリハロメタンの数値は最大に達します。つまりわかしたときにいちばん危ない。

ただし、そのままずっとわかしてないさい。そうすると今度は横軸に時間をとります。10分、20分、30分。30分わかすとだいたい無害になる。水をわかして飲むというのは正しいんですが、30分わかし続けないとダメ。しかしみそ汁をそんな長いことやったら煮詰まっちゃうから、そんなことをする人はいないので、だれしもがごはんを炊く、お茶を飲む、あらゆるかたちでトリハロメタンを体のなかにため込んでいます。

したがって、それがいつ爆発するかわからない。おれんちは井戸だからいいよと言ってもダメで、基準の1100倍汚染されていることが、全国34都道府県、330市区町村の実施の結果、わかりました。地下水に有毒物質がどんどん混入している。



ダイオキシンが人体から検出されたといって、いまさらのごとく驚いて見せているのが、この新聞記事ですけれども、そんなのは当たり前の話で、ついこのあいだまで農業に使われていたし、いまでも花屋さんに行けば殺虫剤として売ってお

ります。ダイオキシンというのは人間が考えた史上最悪、最強の毒物で、発がん性がひどいと同時に催奇性がひどい。つまり奇形児がどんどん生まれる。

そういうものが地下水や雨になって、われわれの口のなかにどんどん入ってくるんですけども、これはかわいそうなお猿さんです。ダイオキシンその他の農薬によって、おそらく口のなかに入るものによってこうなったんだろうと言われてます。全国のモンキーセンターで、いまこうした奇形猿が発生する率は、20から25%、4匹に1匹から5匹に1匹が奇形です。



原因はおそらく大豆、トウモロコシ、ジャガイモ、サツマイモ、こういったものです。これらはほとんど外国からの輸入なんですけれども、では、ぼくらが同じものを食べているかいないか。いますね。ポップコーンなんてものは、洗ってやっているとはとても思えません。しかもあれは外国のものだと思いますから怖いんです。そのほか、ジャガイモだってみんなすりつぶしちゃえばわからない。

ちなみに魚でも、ハマチで尻尾が曲がったやつがあるでしょう。あんなのはみんなお弁当のおかずとか、とにかく切ってしまうばわからないんだから、やすいお寿司屋さんなどに売ってあります。

それでは猿に近い人間はどうだろう。人間に関しては、実は奇形率がほとんどわかりません。なぜならば、産婦人科が人道上、そういうことを発表しないんです。だけど、人間と猿とはかなり似た構造だし、食べるものもほとんど同じ。ただし人間のほうが世代交代が長い。猿はどんどん生まれてどんどん死ぬけれども、人間は50年、70年生きるから、あまり効果が出てきにくい。それから体が大きいということがありますが、似たり寄ったりでしょう。

それが明るみに出ないのは、おそらくものすごい奇形が生まれたときには、「流産でございます」と言ってごまかしてくれているんだろうと思います。ご親戚、ならびに友人に、産婦人科の方がいらっしゃったら、こっそり聞いてみられるといいと思います。ぼくが聞いた範囲では、恐ろしくて夜は寝られないというぐらい気持ちの悪い奇形児がどんどん生まれていると言っていました。ただし、流産として扱いますということです。



これはベトナムでダイオキシンによって生まれたかわいそうな奇形児ですが、ベトナムではいまだに、ベトナム戦争のときにアメリカの兵隊がまいたダイオキシンによって、200万人の後遺症患者がいます。いまもってこういう奇形児が生まれてくる。これもご承知のとおりです。

世界は一つ

こうしたことは地域的な問題ではなくて、実は全世界を駆けめぐっているわけで、海もつながっているし、空気もつながっているから、たとえば南極なんかは工場もないし、自動車も走っていないし、人間もないんだから、非常に純粋無垢なところかと思うと、PCBなどというものが、アザラシやペンギンの体から見つかったりしている。そのぐらい循環しているわけです。

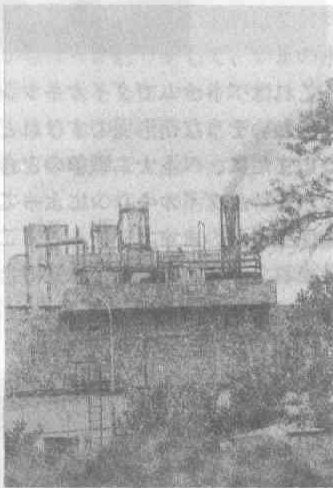


これは最近自由化されたルーマニアの子供たち。つまり東欧諸国は西歐に追いつけ追い越せということで必死になって、いま工業を振興しております。この地域は、これは「読売新聞」の写真なんですけれども、タイヤ工場などがあって、とにかく日中でも向こうが見えないぐらい煙で真っ黒なんですって。で、子供たちはこうなってしまうわけです。



これが工場の実態です。

木の幹を触ったら、手がこんなになっちゃうというぐらいすごいですね。こういうことが東欧諸国をはじめとして、第三諸国と言われているところまで



どんどん振興していて、いま日本に降ってくる酸性雨のほとんどが中国から来ていることははっきりしています。

さて、ごみも問題で、ドーム 130 杯のごみが2

年前の63年には出た。東京ドーム 130 杯分のごみというのはすごいね。

あと2年で、東京はお手上げ、住民の反対で、もはや処分場もなければ、捨てる場所もない。どうするんだろう。ぼくらはごみに埋まって死ぬんじゃないか。



地球維新前夜



というわけで、いまぼくらがおかれている状況を見ていただきました。そして、これが地球です。いま地球維新前夜ということを行いましたけれども、明治維新の前夜は、外圧が激しくなってきた一方、幕府が鎖国制度を敷いてきたので、一般大衆は外国があるということ知らなかったぐらいで、外人がいるなんてことも夢にも思わなかった。

そこへペリーが黒船に乗ってやってきて、どんどん大砲を撃ってきたので、そのテクノロジーの差にびっくりして、それが一つのカルチャーショックになって、明治維新が達成されたと言ってもいいでしょう。その結果、廃藩置県が行われて、いままで大名と称してがんばっていた小さな国々がなくなって、日本は一つに統一されて、その結果、かたちのうえでは日本が諸外国と一応対等の

外交をすることができて、その延長上に今日の日本の繁栄があるわけです。

あのときに一つ間違ったら、われわれはアメリカかイギリス、オランダかどこかの属国になっていたに違いない。そういう非常に際どいところを乗り越えてきたんです。

さて、いまの地球と当時の日本とを引き比べてみると、まず各国の政府が宇宙人の存在を隠しているの、われわれは外国人つまり宇宙人がいることを知りません。ところが黒船の代わりにUFOが盛んに現れている。ぼくらはそれを見て、「ああ、UFOだ。夢があっという間に」と言っているんだけど、実は夢どころの騒ぎじゃないというのが現状だと思います。

環境問題をとっても、やはり幕府の御用商人が、カネもうけのために一生懸命やって、それにわれわれは踊らされてきたから、行き詰まっています。ちょうど幕末のころと同じです。このままいくと、本当に宇宙人に占領されてしまうのか。あるいは自分たちの出すごみや汚染物質によって、自分で自分の首をやんわりと絞めて、徐々に死んでいくか。どっちをとるかです。

だからここで、地球統一というのは変ですけども、各国がそれぞれ大名であることをやめて、地球政府のもとに、一つの地球国にならなければなりません。そのための志士、勤皇の志士というのがありましたけれども、地球維新の志士に、皆さんが一人でもなってほしいと思うわけです。

どうやったらなれるのか。環境問題もそうなんですけれども、政府とか科学者というものは、まったくあてになりません。彼らは自分たちの地位を守るのが精いっぱいです。自分がいままでも手に入れた既得権を手放したくない。だからUFO問題もなぜ隠すのか。環境問題をなぜ隠すのかというと、詰まるところは今の体制が変わって、自分の地位を失うことを怖がっているからです。

明治維新のときに、いちばん損したのはだれかという、各国の大名です。昨日大名、今日ただの人になってしまった。そうなりたくないのが日本を含めていまの各国の権力者たちと、御用商人と言われる、いまの体制にのっかってカネもうけをしている連中です。

ぼくらはそういうことにまったく気がつかなくて、ただただテレビで宣伝されていることが本当

だと思って、テレビCMに乗っかって、あのくるまはカッコいいから買ってえ。どこそこのハンバーガーはおいしいから食いたい。決してうまくもなければ、カッコもよくないんだけど、しょっちゅうコマーシャルでやられると、いいような気がしてくる。そういう宣伝に踊らされて生きているうちは、徐々ににお亡くなりになっていくしかないわけです。

食生態学者の西丸農哉さんという方がいますけれども、その人が長年の研究の結果発表したことで、それもいままから7年も前に言ったことですけども、昭和34年以後に日本は一人のこらずガラス張りのガス室にほうり込まれてしまったのと同じ状況になった。つまりそのころから、日本の産業は振興したわけで、そのためにたくさんの産業廃棄物、公害を生み出した。

そのなかでわれわれは生きていくわけですから、そういうガラス張りのなかにほうり込まれたら、いったい何年生きるかということコンピューター・シミュレーションいたしました。それには科学的な、つまりテクノロジーの発展とか、そのためにいろいろな公害が抑えられるだろうというふうな要素を全部入れました。その結果出てきたのが、41歳が平均寿命ということなんです。

これはどういうことかということ、昭和34年のころにすでに生まれてきた人、つまり昭和34年以前に生まれた人は、昭和34年のときから41年間生きられる。34年以後に生まれた君たちは、41歳が平均寿命ということ。あまり長くないね。このままいけば。

平均寿命というのは、だいたい半分死ぬということですから、今日みたいに同窓会をやると、半分しか人が集まらない。「なんとか君、どうしたの?」「あれ、死にました」。こういう話ね。それが41歳のときというわけで、残りの半分に入りたい人は、いろいろなことを気をつけてほしい。

生き残り作戦

ぼくはいまボランティアで、地球環境財団というのを一生懸命やってはいるんですけども、ぼく自身にはかみさんも子供もいないから、どうでもいいようなものです。いまの大人は、自分たちのかわいい子供たちをひどい目に遭わせたくないとお思いになったら、少しでもなにか自分ででき

る範囲のことをすることをお勧めします。

それはいったいなにかというと、世のため、人のためなどというおためごかしじゃ、人は動きません。そのことはひとつもいいエネルギーに向かわないと思うので、まずエゴに徹してください。人はどうあれ、ためえだけは助かりたいと必死に考えていただきたい。自分と自分の家族だけは、食糧難になろうとも、あるいは海面が上がってこようとも、オゾン層に穴が開こうとも、どんなことになろうとも助かりたいということを実際に考えていただきたい。

一人ひとりがそういうエゴに徹したときに、最終的にはどうなるだろうかという予想がつくからです。つまり自分だけではどうにもならないことであって、日本で気をつけても公害物質は、中国から飛んでくる。ソ連から飛んでくる。いろんなことが考えられる。だから自分で気をつけると同時に、自分でできる範囲のことで、環境問題をなんとかしなければならぬということに到達するでしょう。

しかしその原動力としては、やはりためえだけは助かりたいというところに基礎をおいていただきたいと思います。若い人たちはましてやのこと、おれだけは41歳より先に生き延びるんだぞということを考えてほしい。そのためには、コマーシャルに乗っけられて、あれもほしい、これもほしいと買いまくらないこと。みすみすごみになることがわかっているものを買わないこと。

それから食べたら必ず自分の体のなかに毒が回るようなものは食べないこと。見た目がいくらよくなって、コマーシャルをやっていたって、自分の体が本当に欲するものを食べる。つまり無農薬のものとかいろいろありますから、そういうことを考えて生きていくことが、実は全世界がよくなっていくことの第一歩なんじゃないかと思いません。つまり一人ひとりがなんとかしないとダメなわけで、政府も科学者もまったく頼りになりません。

いまや自分自身の生き残りのためには、自分自身が考えなければならぬというたいへんな時代だということが言えると思います。

終わりに

時間がなくなってしまったので終わりますけれ

ども、環境問題に関して、どうしてもいろんなことがわからない。もっといろんなことを知りたいという人は、地球環境財団で出している月刊誌『アーシア』を取ることをお勧めします。これは年間5000円払うと、毎月いやでも手元に届きます。いま環境問題についていろんな疑問を持っている方が本屋さんに行っても、おそれと全部が網羅できる本なんてありません。だいいち、本屋にはたくさん並んでいて、どれを買っていいかわからないし、ときたま雑誌に特集があっても、それはそれっきりで、次は載っていません。しょっちゅう新しい情報を頭に入れておきたい。それから新聞などでも、今日載っていても、2、3日後にはもう載ってないということがありますので、それをまとめて見たい。あるいはときどき心新たに見てみたいという人にはぴったりです。毎月いやでも手元に届く。しかもカネを払っているから、けちだから読んでしまう。こういうことから非常にいいメリットがあると思うので、この月刊誌『アーシア』なるものを購入することをお勧めいたします。

いまなら年間5000円ですけれども、いずれは7000円に値上げになると思います。というのはこれ1部500円なんですけれども、年間だと1000円おまけになっています。どこに申し込めばいいかというのは、234-0111という電話番号を覚えておいてください。そこに申し込んでください。一般書店では売っていません。234というのは1234ですから、そのうちの1を省いて234、次が0111です。覚えやすいでしょう。そこへ申し込んでください。

ただし、これが何百部売れても、ぼくのもうけにはいっさいなりません。ぼくはボランティアで、ただでやっていますし、環境財団そのものはこれまたボランティア団体です。しかもこのスポンサーのおカネももらっていないので、ヒモがいっさいついていません。そういう財団をつくらうと、ぼくとあと5、6人の人が考えて、つい2年前につくった財団です。

そういうわけで、最後はCMづいてしまいましたけれども、ぜひ自分だけでも助かりたいということを実際に考えていただくことをお願いして、今日のお話を終わります。どうもありがとうございました。(拍手)

平成元年度事業報告

事業種別	日時・場所・内容	出席者等
総 会	平成元年6月17日(土) 於：小石川校舎実演室	会 員 101名 来 賓 5名 教職員 15名
同窓会誌の発行	同窓会誌「朋友」1989年版の発行(平成元年9月) クラス委員名簿第11回改訂版を含む	
教職員・クラス委員懇談会	平成元年9月22日(金) 於：後楽園酒徳亭 ○卒業生招待会(ホームカミング)について討議 ○高等学校創立50周年について討議 ○クラス会の開催状況等について討議	教職員 10名 クラス委員 1名 幹 事 12名
新会員説明会	平成2年3月6日(火) 於：小石川校舎体育館 ○新会員に高等学校同窓会の現状説明	終業式場にて大塚副会長より 新会員 549名
新クラス委員懇談会	平成2年3月6日(火) 於：小石川校舎会議室 ○新クラス委員となる人と幹事の懇談会 ○高等学校同窓会への積極的参加要請他	教職員 5名 新クラス委員24名 幹 事 7名
卒業記念品の贈呈	平成2年3月8日(木) 於：九段会館 卒業式 ○証書挟み・南部鉄製鍵型栓抜	卒業式に池ヶ谷幹事、印宮会長参列
クラス委員名簿の整備	平成元年5月：委嘱状と承諾書の発送回収	
クラス会開催の補助	クラス会を開催するクラスに補助金として5,000円を支給	30クラス
準会員活動奨励	平成元年10月2日(日) ○電高祭優秀展示作品奨励 優秀賞：3部門	
準会員活動援助(校友会準会員事業基金の運用)	平成元年9月26日(火) 於：小石川運動場 ○体育祭のクラス別対抗表彰・全員に参加賞の配付	大塚副会長参列
	平成2年2月5日(月) 於：江戸川文化センター ○第11回文化講演会「一億円プレイヤーになるためには」 講師：富澤宏哉氏(前セリーグ審判部長)	
	平成2年3月6日(火) 於：小石川校舎体育館 終業式場にて ○クラブ活動優秀者の表彰	
第4回卒業生招待会の協力	平成元年6月17日(土) 於：日中友好会館 ○高等学校創立50周年記念卒業生招待会の協力	来 賓 65名 卒業生 291名

平成元年度決算報告 自平成元年4月1日 至平成2年3月31日

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
入 会 金 3600円×519名	1,868,400	事 業 費	1,579,970
補 助 金	56,250	総 務 費	431,966
利子・配当金	471,097	教職員・クラス委員懇談会費	201,826
雑 収 入	60,000	ク ラ ス 会 補 助 金	150,000
特別助成金	400,225	卒 業 記 念 品 費	173,870
		同窓会誌製作発行費	592,308
		準会員活動奨励費	30,000
		会 議 費	212,484
		事 務 通 信 費	57,820
		諸 費	105,450
		基本財産繰入	170,000
小 計	2,855,972	小 計	2,125,724
前期繰越金	157,304	次期繰越金	887,552
合 計	3,013,276	合 計	3,013,276

同窓会の

高 等 学 校

名誉会長 宮崎 登
会 長 大塚 忠克
副会長 須賀 寛光
" 向 芝 京太

平成1・2年度役員

職 務	氏 名	卒年	居住地
幹 事	佐々嶋 長 治	17	北 区
"	池ヶ谷 道 夫	20	市 川 市
"	清水 岩 生	20	世田谷区
"	海老原 官 一	23	浦 和 市
"	中 村 広 幸	24	市 川 市
"	北 風 康 夫	29	大 田 区
"	間 川 清太郎	29	飯 能 市
"	見 崎 正 行	35	秦 野 市
"	萩 原 宏 芳	35	川 口 市
"	石 崎 泰 司	37	江 戸 川 区
"	渡 辺 敏 章	48	北 葛 飾 郡
"	須 賀 寛 光	49	越 谷 市
"	山 口 孝 博	49	町 田 市
"	河 野 吉 伸	53	大 宮 市
"	内 山 章 夫	54	船 橋 市
"	池 田 秀 浩	54	中 央 区
会計監査	加 藤 栄 治	30	川 越 市

活動報告

同 窓 会 役 員

参与 驚 見 篤 23年卒
" 谷 沢 正一郎 23 "
" 野 瀬 健 一 27 "
" 加 藤 康太郎 29 "
" 賀 張 雅 弘 31 "

平成2・3年度役員

職 務	氏 名	卒年	居住地
幹 事	豊 田 健 造	18	小 平 市
"	野 口 成 治	18	千 葉 市
"	阿久津 功	23	市 川 市
"	今 田 正	24	武 蔵 野 市
"	鈴 木 治 郎	24	新 座 市
"	宇 野 敏 助	27	柏 市
"	柴 山 茂 男	30	横 浜 市
"	小長谷 登	31	横 浜 市
"	松 下 祐 輔	34	朝 霞 市
"	日比野 靖 昌	36	文 京 区
"	大 塚 忠 克	39	浦 安 市
"	渡 辺 喜 平	39	藤 沢 市
"	北 尾 義 弘	40	相 模 原 市
"	印 宮 登	41	江 戸 川 区
"	向 芝 京 太	48	新 座 市
"	平 野 修 一	49	越 谷 市
"	古 城 仁	50	川 崎 市
"	鈴 木 元 樹	54	市 川 市
会計監査	横 山 真 一	27	船 橋 市

財 産 目 録 平成2年3月31日現在

項 目	内 容	金 額
基本財産(1)	東京電力社債	5,000,000
基本財産(2)	中期国債ファンド	0

平成2年度事業計画

事業種別	内 容	日 時
創立30周年記念事業	記念講演 於：小石川校舎体育館 「宇宙人は実在する!?」… 講師：矢追純一氏(元日本テレビディレクター) 記念祝賀会 於：後楽園会館	平成2年 6月23日(土)
総 会	於：小石川校舎実演室 1. 平成元年度事業報告、決算報告の審議並びに承認及び会計監査報告 2. 平成2年度事業計画案、予算案の審議並びに承認 3. 役員改選 4. その他	
同窓会誌「朋友」の発行	同窓会誌「朋友」1990年版の製作・発行 クラス委員名簿第12回改訂版を含む	平成2年9月
クラス委員の委嘱	クラス委員に委嘱状と承諾書の発送・回収	平成2年5月
教職員・クラス委員懇談会	教職員・クラス委員と諸事項について協議及び懇談 同窓会・高等学校後援会・校友会への支援要請	平成2年9月
新会員説明会	新卒業生に高等学校同窓会の現状説明	平成3年3月 終業式場にて
新クラス委員懇談会	新クラス委員となる人と幹事の懇談会 高等学校同窓会への積極的参加要請他	平成3年3月 終業式後
卒業記念品の贈呈	証書挟み・南部鉄製鍵型栓抜 校友会と共催	平成3年3月 卒業式
クラス会開催の補助	クラス会を開催するクラスに補助金として5,000円を支給(他に校友会より10,000円と、往復ハガキ代(通信費)、学校法人より5,000円が支給されます。)	随 時
準会員活動奨励	電高祭優秀展示作品の奨励 クラブ活動の奨励	
準会員活動援助	体育祭・文化講演会・クラブ活動等の活動援助(校友会準会員事業基金の運用)	
卒業生招待会の協力	卒業生招待会(ホームカミング)の協力	
募金活動の推進	小金井移転募金活動の推進	

平成2年度予算 自平成2年4月1日 至平成3年3月31日

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
入 会 金 3600円×549名	1,976,400	創立30周年記念事業費	950,000
補 助 金	40,000	記 念 講 演 費	150,000
利子・配当金	360,000	記 念 祝 賀 会 費	800,000
雑 収 入	100,000	事 業 費	1,530,000
		総 務 費	100,000
		教職員・クラス委員懇談会費	250,000
		ク ラ ス 会 補 助 金	250,000
		卒 業 記 念 品 費	170,000
		同窓会誌製作発行費	650,000
		新クラス委員懇談会費	10,000
		準会員活動奨励費	100,000
		会 議 費	200,000
		事 務 通 信 費	100,000
		諸 費	100,000
		予 備 費	483,952
小 計	2,476,400	小 計	3,363,952
前期繰越金	887,552	次期繰越金	0
合 計	3,363,952	合 計	3,363,952

平成2年度支出小計(予備費を除く)は2,880,000円

高等学校小金井校舎建設資金募集についてのお願い



〈完成予想図〉

募金趣意書

学校法人東京電機大学は、明治40年、電機学校として創立以来、堅実で真しな学風のもとに、教育研究を続け、社会の各界各層に幾多の人材を送り出し、我が国の科学技術の発展に大きな貢献をし、理工系総合学園として、そのユニークな存在が社会から高く評価され、今日に至っております。

しかしながら、科学技術の急速の発展の真只中であって、時代の要請に応え、また技術革新によって変貌するであろう未来社会に迎え得る人材を養成するためには、教育研究内容の一層の充実発展を、たゆまずはかることが必要と考えます。

このため、神田キャンパス（工学部・短期大学）におきましては、先に校舎の再整備を実施して、大学院の充実を柱とする教育研究体制の一層の充実をはかり、更に千葉ニュータウンキャンパスにおきましては、平成2年4月に新校舎を完成し、工学部第一部第一学年次生約1,000名の教育が行われております。

鳩山キャンパス（理工学部）におきましては、大学院を充実するとともに、6学科となり、着実に教育研究内容の充実を推し進めてまいりました。

さて、小石川キャンパスにあります高等学校は創設以来、半世紀にわたって大学とともに、充実

発展を遂げてまいりました。今後、より一層の飛躍を求めて、育ち盛りの高校生にとってよりよい環境のもとに、教育とクラブ活動の共有できる校地を求めてまいりました。

このたび、現小石川校地の約5倍の広さをもつ小金井キャンパスに移転することに決定し、来る平成4年4月の開校に向けて、只今、新校舎の建設が進められております。これを契機に学習活動の一層の向上につとめる所存でございます。

本学園におきましては、千葉ニュータウンキャンパス建設に続いて、小金井キャンパス建設を実施することは多額の資金を要します。

その資金のすべてを自己資金で賄うことは難しく、学内外の各方面をお願いして、その建設資金の一部をご援助・ご支援していただくことを計画いたしました。

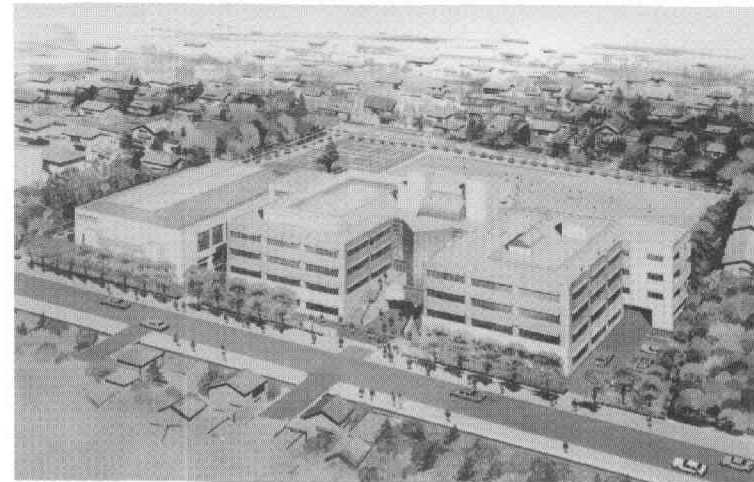
時節柄、誠に恐縮なお願いとは存じますが、何卒、本学園の意図するところをおくみとりいただきまして、格別のご協力・ご支援を賜りたく、お願い申し上げます。

学校法人 東京電機大学

理事長 廣川利男
募金委員長

建設の概要

所在地	敷地面積	建物延面積	構成
東京都小金井市梶野町四一八一	二二、〇四・二㎡	一八、四四一・〇㎡	教育棟（四階建）・体育館兼講堂・クラブハウス（二階建）・プール（教育棟屋上）・グラウンド・テニスコート（三面）等



募金要項

- ・ 募金目標額 5億円
- ・ 募金期間 平成3年1月1日～平成5年12月31日
- ・ 寄付金額
個人 1口 5万円（1口以上）
法人 1口 10万円（1口以上）

この建設資金の寄付金は、税法上の特典があり、次のような減免税の措置が受けられます。

・ 個人の場合
寄付金（ただし、総額が年間総所得金額等の100分の25を限度とする。）が1万円を超える場合には、その超えた金額が当該年度の課税所得から控除されます。

払込金受領書と「特定公益増進法人証明書」写を添えて、寄付した翌年の2月から3月の間に所轄税務署に確定申告書を提出し、所得税の還付請求をなさして下さい。

・ 法人の場合
指定寄付金（全額損金に算入）
本学所定の寄付申込書のほか、日本私学振興財団の寄付申込書が必要になります。
免税手続きに必要な財団の領収書は、財団から発行され次第、本学から直ちにお送り申し上げます。

- ・ 申込および払込方法
1. 同封の寄付申込書（払込用紙裏面）にご記入の上、同払込用紙により、最寄りの郵便局または銀行からお払込み下さい。
なお、法人として寄付ご希望の方は、別に法人手続書類が必要になりますので、ご請求下さい。
 2. 次の本学指定銀行本・支店からお払込みの場合は、払込み手数料は無料です。（取りまとめ支店名は、払込用紙裏面に記載してあります。）

三和・住友・富士・第一勧業・太陽神戸三井・三菱・東京都民・東海・協和・安田信託・住友信託
（協和銀行は平成3年4月1日から、名称が協和埼玉銀行に変わります。）

お問い合わせ・ご連絡は下記にお願いします。

東京電機大学高等学校
小金井校舎建設資金募金事務局

〒101 東京都千代田区神田錦町2-2
学校法人東京電機大学経理部会計課内
電話 (03) 3294-1551 (代)

編集後記

1990年号の「朋友」はいかがでしたでしょうか。本号では、同窓会30周年記念として非常に好評を得た、本校の卒業生でもある矢追純一先生の『宇宙人は実在する!?!』を大きく取り上げさせていただきました。講演を聴かれた方々はもちろんのこと、都合により聴くことのできなかった方々もきっとご満足いただけたことと思います。

本号は、編集が遅れがみでとうとう年を越してしまいましたが、なんとか発行することができ、編集員一同ほっといたしております。これも、多くの方々のご協力がいただけたからであると思っています。「朋友」の発行に関しましていろいろとご協力いただきました方々には、この場をかりて厚く御礼申し上げます。また、発行がたいへん遅れてしまいましたことを深くお詫び申し上げます。

[編集担当] 柴山茂男・向芝京太・須賀寛光
古城 仁・内山章夫・河野吉伸

平成3年3月4日 発行（非売品）

〔編集兼発行所〕

東京電機大学高等学校同窓会

住所：東京都千代田区神田錦町1の4

東京電機大学校友会内

電話：03-294-1551（代）

東京電機大学高等学校

住所：東京都文京区後楽1-7-26

電話：03(813)6911(代)